

ライオン信濃

我々は、世界最大の奉仕クラブ組織です

Lion's Shinano

334-E地区

「我がクラブのライオンズレガシー」

第三回 1R編

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動レポート
冬期派遣YCE生帰国報告／海外からYCE生を迎えて



2016.7~2017.6
VOL.42-NO.3

334-E地区 ガバナーズローガン

獅子魂よ 永遠なれ! Lion's Spirit Forever!



「百年の力」より強く より高く 新たなる改革を
“Our Centennial Success” Be Greater and Higher Time for Innovation



LIONS CLUBS INTERNATIONAL



District334-E/District301-D2

42nd JAPAN-PHILIPPINES JOINT MEDICAL MISSION

第42回

日本・フィリピン合同医療奉仕活動実施報告

Thank You Doctor!
Thank You Lions!
Thank You Japan!

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動が、2月10日から13日までの4日間の日程で開催されました。

2日間の医療奉仕活動。現地への参加者数は173名。そして受診された患者数は8,236名。

皆さまからご協力いただいた多くのドネーションとタオルの抛出、決して恵まれた環境とは言い難い中で、多くのドクターそしてライオンズメンバーが流した汗の分だけ現地には受診された方々の笑顔が溢れていました。

みなさん本当にお疲れ様でした!事前の準備から始まり、参加した者だけが享受できる感動、喜び。

国際協会からも高く評価されているこの奉仕活動の成果を報告いたします。





52クラブの皆様 心からの感謝を

地区ガバナー
L.武田 善彦【松本LC】



第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動が、2月10日(金)から14日(月)の4日間(医療奉仕活動は実質2日間、4地区)当地区からは、通訳の方を含め関係者169名。また、大阪天神橋ライオンズクラブ他からも4名参加され総勢173名の参加者を得て、医療奉仕活動(歯科・眼科・内科)として、8,236名の診察を実施して参りました。

昨年8月7日の第1回JMM実行委員会を皮切りに3回の会議を重ね、9月にはフィリピン現地における現地調査を行い301-D2地区ガバナーL.ALBERTO C.DE GUZMAN、同地区国際関係委員長のL.ROSITA ONG-TANをはじめとする地元ライオンズクラブメンバーとの綿密な打ち合わせを実施して、要望事項等をお伝えし、奉仕活動が円滑に進むよう調整を図り、更に現地を視察し、今回の4箇所の奉仕地区を決定しました。特にB班の皆さんには遠方(バスで片道4時間)までご苦労様でした。

当日は、301-D2地区ガバナー、国際関係委員長を中心として、地元ライオンズメンバーの熱烈な歓迎と献身的な協力のもと医療奉仕活動が実行されました。

物資輸送車のエンジントラブル、接触事故、またインフルエンザ、風邪等に感染された方が2、3名いらっしゃいましたが、全員無事に医療奉仕活動を果たされ帰国できたことが何よりの喜びです。

回数を重ねてきましたこの奉仕活動は、その時々的情勢、状況、要望等に合致してきたからこそ継続されてきたわけで、今後の活動におかれましてもその時々ガバナー方針に基づき年次大会で皆様のご判断に委ねていければと考えます。

終わりに、改めまして52クラブの皆様からの物心両面にわたるご援助・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動実績報告

		内科 MEDICAL	歯科 DENTAL	眼科 OPHTHAL	小計 SUBTOTAL
A班	1日目(2/11)/1st DAY(Fed.11) マリキナシティ/Marikina City	1,211名	398名	841名	2,450名
	2日目(2/12)/2st DAY(Fed.12) アンティポロ/Antipolo, Rizal	1,338名	207名	573名	2,118名
	2日間合計/2days total	2,549名	605名	1,414名	4,568名
B班	1日目(2/11)/1st DAY(Fed.11) ディナルピハン/Dinalupihan, Bataan	972名	277名	418名	1,667名
	2日目(2/12)/2st DAY(Fed.12) コモンウェルスQC/Commonwealth, Q.C.	1,020名	288名	693名	2,001名
	2日間合計/2days total	1,992名	565名	1,111名	3,668名
総合計		4,541名	1,170名	2,525名	8,236名

日本フィリピン合同医療奉仕活動! 恵まれない国への支援

334-E地区・長野県ライオンズクラブとフィリピン301-D2地区のライオンズクラブは、1977年より長年にわたり合同医療奉仕活動を継続・実施しています。ライオンズクラブ国際財団よりLCIF国際援助金を受付け、毎年2月マニラ周辺の無医村地区4箇所を選び、2日間に渡り150~180名の参加者が、内科・眼科・歯科に分かれて無償で診療。医療品、タオル、歯ブラシ、石鹸、眼鏡を約1万名の患者に配布しています。

この継続実施が高く評価され、2006年7月アメリカ・ボストン市で開催された国際大会で、最高位であるアカデミー賞を受賞。2012年にはLCIF国際理事長賞、同年フィリピン政府からもフィリピン社会福祉開発省賞を受賞しています。



医師が 見た JMM

L. 福澤 道夫【塩尻桔梗LC】

1977年(昭和52年)に始まった日本・フィリピン合同医療奉仕活動も今年で第42回を数えることとなった。私が初めてこの奉仕活動に参加したのは1997年の第22回からである。それ以前よりこの活動があることは知っていたが、中々仕事の関係で時間が取れず行きそびれていたがその年、意を決して家内を伴って参加した。診療する場所は現在と同様にマニラから1時間半から2時間程バスで行った所だったが衛生状態が悪く、特にトイレ事情が悪くて女性達は苦勞していた。年々診療する場所の環境は良くなってきているが、当初は小さな教室の中で暗く、そして暑くて汗びっしょりで診療したのを覚えている。通訳は付いてくれたがタガログ語から英語への通訳だけで、その英語も聞き取り難く家内と苦勞した。薬は現在の方式と違ってその場でタオルと一緒に渡していた。教室の窓は鈴なりの人々で更に暗くなっていた。靴らしい物を履いている人はおらず、殆どゴム草履で特に子供達は裸足が多かった。通訳に聞くと隣の部落からひと山越して来た人もいて、生まれて初めてドクターに診てもらう人が殆どですとの事であった。又現在よりも症状が重い人が多く、中にはすぐにでも入院させないと生命の危険があると思われる人も数人いたように記憶している。

私の傍に居て一緒に汗を流してくれた家内は、その後同年6月に白血病を発病し2年後に亡くなった。

そんな事もあり、私はその後しばらく奉仕活動を休んでいたが、私の大学の先輩でもある野中杏一郎先生がガバナーになった年、先生から「参加するように!」との電話を受け第30回活動よりまた参加することとなり以後続けている。そろそろ疲れる年齢となってきているが、「福澤が行く間は俺達も行く」と言ってくれる我が塩尻桔梗ライオンズクラブのメンバーが居るので、あと数年は参加しなければと思っている。

たった2日間の、しかも一回数分の診察で何が?との疑問もありますが、見方によると終戦直後の日本の様でもあり、診療した後一枚の処方箋を渡すと、忘れられない笑顔が返ってくる時があります。

この数年参加する医師が少なくなってきています。ライオンズメンバーの中にも多くの医師がおられると思います。中々時間が取れないと思いますが、一度行ってみませんか?「まだこんな世界もあるんだ!」という所を見てみませんか?





レオが 体験した JMM

丸子レオクラブ 松山 尚憲

レオメンバーの主な仕事は歯科活動の手伝いでした。海外での奉仕活動は初めてで、戸惑いと驚くことばかりでした。

2日間でたくさんの患者さんを診ました。暑い中での慣れない活動は大変でした。でも、治療した現地の方々がとても喜んでくださるので、終わったときには達成感がありました。

奉仕活動を通して多くのことに気づき、考えさせられました。いかに日本は衛生環境が良く、様々な医療が充実しているということ。また、海外には貧富の差が激しく、衛生状態も整っていない場所での生活を強いられている人々が多くいて、今回の様な奉仕活動がいかに大切かということ。日本にいては知識としてわかっているにもかかわらず、現地で自分の目で見て、肌で感じたことで理解でき、大変勉強になりました。これからのレオ活動に生かしていきます。

奉仕活動では、多くの方々に大変お世話になりました。ライオンズクラブの皆様だけでなく、フィリピンの方々にも心から感謝いたします。このような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。

丸子レオクラブ 土肥 愛華

私は、今回初めて参加させて頂き、歯科のお手伝いをやらせて頂きました。初日は薬局の手伝いをし、小さな子供からお年寄りの方々がたくさん薬をもらいに来て、それだけ環境が悪いのかと感じました。二日目は治療の補助をしました。最初は慣れず、時間がかかりましたが、やっていくうちに慣れてきました。治した時に言ってくれたTHANK YOUが今でも忘れられないくらい嬉しかったです。

フィリピンでは、人が道路や公園の日陰で寝ていたり、家屋の壁が板一枚だけだったり、日本では目にすることのない光景に衝撃を受けると共に、自分達が今どれだけ豊かで恵まれた生活をしているのかと痛感しました。私はこの奉仕活動で、とても貴重な経験をする事が出来ました。この経験をこれからの生活に活かし、自分達が豊かな生活ができることに感謝して生きていきたいと思っています。今回は貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

丸子レオクラブ 土肥 雷星

今回日本フィリピン合同医療奉仕活動に参加させていただき、一日目二日目共に歯科の方のお手伝いをさせていただきました。一日目は準備の時から何をしたいのかわからずに戸惑うことが多々ありました。作業を始めてからも最初のうちは治療されている患者さんを見ていて具合が悪くなってしまったり、作業に慣れるのに時間が少しかかってしまいましたが、二日目はスムーズに作業を続けることが出来ました。治療を終えた患者さんは皆笑って帰っていき、その笑顔を見て達成感と、もっと多くの患者さんに治療をしてあげたいと強く思いました。

今回この活動に参加させていただき医療活動以外でもフィリピンの街並みや人々を見て僕たちがどれほど裕福で恵まれた生活を送っているのかがよくわかりました。外国へ行かせていただき、世界には様々は人がいて僕たちがどれほど恵まれているのかなど、とてもいい勉強になりました。この経験を忘れずに一日一日に感謝して生活していきたいと強く思いました。本当にありがとうございました。



第42回 日本・フィリピン合同医療奉仕活動報告

地区国際関係・LCIF委員長兼大会参加委員長
第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動実行委員長
恩田 弘志

I はじめに

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動は、7ヶ月の準備期間を経て本年2月10日から13日の日程で実施された。

活動は参加者173名の奉仕団により実行され、受診者数8236名の実績そして参加者全員の無事帰国をもって、大きな成果のうちに終了いたしました。



II 活動の実施及び実績

1. 日程及び参加者数

日程/2017年2月10日(金)から13日(月) 参加者数/173名

2. 支援物資

地区51クラブよりタオル9363枚、バスタオル98枚の支援がありました。

3. 合同医療奉仕活動の実施と実績

① 実施と実績

第1日目/2月11日(土)

A班...Marikina City/Malanday National High School

受診者数

内科1211名・歯科398名・眼科841名/計2450名

現地応援

内科医師6名・歯科医師7名・眼科医師2名・検眼士2名

B班...Dinalupihan, Bataan/Dinalupihan, Bataan

受診者数

内科972名・歯科277名・眼科418名/計1667名

現地応援

内科医師11名・歯科医師12名・眼科医師2名・検眼士2名

第2日目/2月12日(日)

A班...Antipolo, Rizal/Assumption, Antipolo

受診者数

内科1338名・歯科207名・眼科573名/計2118名

現地応援

内科医師7名・歯科医師8名・眼科医師3名・検眼士2名

B班...Commonwealth, Quezon City/Manuel L. Quezon Elem. School

受診者数

内科1020名・歯科288名・眼科693名/計2001名

現地応援

内科医師12名・歯科医師10名・眼科医師2名・検眼士1名

② 全体として

第1日目/2月11日(土)

A班は、予定通りに奉仕地に到着後30分程で準備を完了し順調に患者を診察し、ガバナーチームの到着を待つために30分終了時間を延長し終了。B班は奉仕活動地が遠く片道3時間以上の行程の上、途中ハイウェイでの運送トラックの故障により物資の積み替えを行うなど奉仕地への到着が遅れ1時間半後の診療開始となった。昼食も30分程短縮したが、帰路も4時間半と交通渋滞の為に時間を取られ診察時間が大幅に減ったため診察を行った患者数は、予定を500~1000名程下回った。

第2日目/2月12日(日)

A・B班とも半日の診療ながら概ね順調に予定した数の患者を診察することができた。

III LCIF国際援助金交付と予算執行について

1. LCIF国際援助金交付

メディカル部門(内科・眼科)で3万ドル、松本ライオンズクラブ申請の歯科部門3万ドルの合計6万ドル及び松本アルプスライオンズクラブ申請の歯科部門1万ドルの交付を受けた。

国際援助金の交付は、この事業のLCIFでの評価も高く、今後も大きな誇りとして合計7万ドル以上の交付申請の継続を申し送る。

2. 予算執行

予算については、ほぼ前年度同様としたが、LCIF国際援助金の為替の影響もあり前年度より厳しい予算内での執行となった。

ただ、昨年1万ドルの301-D2へのドネーションの実施により、5才~7才の男女5名の子供たちに心臓手術を施すことができ、両親共々感謝の言葉を云う為に我々の滞ホテルまで交通費の補助を受けながら面会に来たことを、報告しておきます。

IV 総括

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動においては、1日目の奉仕地の一つがフィリピンサイドのガバナーの出身地でもあり、遠方ではあったものの奉仕を実施した。

年々マニラ市内の交通渋滞が激しさを増し奉仕地への移動に時間を要することが、今後の課題として残ると思われます。ただ、奉仕地での患者の数は依然として多く生活水準の向上も見られるものまだまだ、奉仕活動の必要性は変わらないと思われる。

今回も多くの方の参加を頂きライオンズの本領を発揮できた奉仕活動として成功裡に終わったこと、そして大きな事故も無く無事帰国出来たことに感謝致します。

手術をした子供たちが来てくれました!

2015-16JMMIにおけるフィリピンへの1万ドルの援助についての報告

前国際関係・LCIF委員長 平山 和成

【実施内容】301-D2地区へ1万ドル(当時のレート換算で120万円)をドネーション ※2015-16第41回JMMIにて

【援助の理由】①JMMIにて現地ドクターの確保 ②診察後のフォロー ③手術の援助資金

【成果】

- ①現地ドクターの確保がなされ、全体に現地の医者の数が多くなった。特に各活動地区において例年皆無であった現地眼科医が数名ずつ確保された。
- ②眼科で診察の結果、白内障の手術が必要な患者が多かったが、その患者を中心に31名に白内障の手術を実施しその援助ができた。
- ③心臓病の子供たちを助ける目的をもった医者の団体(そのリーダーが301-D2地区のライオンズクラブのメンバー)に登録している先天性心臓障害の子供9人に対し、この資金を使い心臓カテーテル手術を実施した。



冬期派遣YCE生 帰国報告

【青少年の国際交流 YCE交換学生プログラム】

ライオンズクラブでは国際感覚の育成を目的に、さまざまな国との交換学生プログラムを実施しております。生活・習慣・宗教などの異なる海外で、学び生活をするという貴重な体験を、世界中の青少年に与えたいと考えます。次代の平和を願い、活躍する若者を育む一助を担っています。

高島 夏子 派遣先/イタリア
期間/平成28年12月18日~平成29年1月9日
スポンサーLC/長野白樺LC



今回、YCE冬期派遣生としてイタリアに行かせていただきました。私は、海外に行った経験がほとんどないので行く前は向こうでの生活に適應することができるのか、また自分は人見知りなのでそれを

克服してしっかりコミュニケーションをとることができるのかといった不安が多くありました。

しかし、その不安は最初の数日でステイ先のご家族が取り除いてくれたように思います。空港に着いた私たちを温かく迎えてくださったところからはじまり、現地の日本人の方に聞いて私たちの口に合うように食事を考えてくださったり、会った直後からジョークを言って笑わせてくださったり、いろいろなところに連れて行ってくれたり、親切にしてくださり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、日本についてもすごく興味を示してくださり嬉しかったです。(自分がもっと日本について詳しく説明することができたらよかったです。)特にホストシスターたちとは自分が思っていた以上に仲よくなって個人的な踏み込んだ話ができるほどの仲になりました。2週間がとても短く感じられ、別れの時はお互いに涙が止まりませんでした。

イタリアには歴史ある建造物や絵画などがたくさんあり、それらを見ることができてとても嬉しかったです。日程はややハードでしたが、どれも見る価値、訪れる価値のあるものでひとつひとつに感動しました。特にヴァチカン美術館は印象に残りました。普段教科書でしか見られないようなものを実際に目で見ることでできたおかげで世界の歴史などに今まで以上に興味をもてるようになりました。



ホストファミリーの方々の職場、学校、友達の家にも訪れることができました。ステイ先のホストシスターの1人は私と同じ年だったので、その子の高校や友達が最も身近に感じられ、かつ日本との比較もできて良い経験になったと思います。同じ高校生のため、共通する部分はありましたが、彼らの積極性、発言する姿勢は自分には足りない見習うべき点だと感じました。あった方々とは一緒にイタリアのクリスマスのゲームをやったり、食事をしたり、街を歩きながら歴史、宗教、行事などを説明してもらったりしました。どの人も

嫌な顔せず受け入れてくださってありがたかったです。そのように現地の多くの人と関わることでそこの文化や習慣を感じ、体験することができました。

現地では驚きもたくさんありました。さまざまな点において日本との感覚の違いがみられました。私が行った時期がちょうどクリスマスとかぶっていたのもありますが、夜遅い時間から友達の家に出かけたり、食事の量が想像をはるかに超える多さだったり。性格面では、とにかくたくさん話し、とても明るいという印象を受けました。はじめはただただそれらに圧倒されるばかりでした。しかし、慣れていくといつも笑っていられるとても楽しい場所になったし、彼らの明るさにはたくさん助けられました。

キャンプでは様々な国の人と接する機会がありました。しかし、ここでは反省があります。ゲームなどは一緒に楽しむことができ本当に楽しかったけれど、日本人と話すことが多く、最終日にはもっとうろろんな人と話しておけばよかったと強く後悔しました。自分から積極的に行動することの大切さをこれほど実感したことはありません。

今回のプログラムは場所、人など様々な点で本当に恵まれていたなと感じます。もちろん現地にいたときはとても楽しくてイタリアは大好きな国になったし、最後は帰国したくないと思うほどでした。今でも時々戻りたくなります。また、ホストファミリーという第2の家族ともいえる存在、国境を超えた友人、たくさんの経験などが残ったし、自国、世界の動きなどに関心も持つようになりました。また、新しい価値観などを見ることで少しは自分の幅も広がったと思います。参加して本当に良かったです。このような貴重な機会を与えてくださったライオンズクラブの皆様には心から感謝しています。これからの生活に十分に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。



海外からYCE生を迎えて



〈滞在報告〉

Tan Yee Ching

タン・イー・チング 〈マレーシア〉



私は12月21日と22日上田染谷丘高校に行きました。高校では授業をしたりいろいろなことに参加しました。

上田染谷丘高校で私は新しい友達に出会いました。高校はとても楽しく素晴らしかったので、好きになりました。この学校の教育はマレーシアのものとは違っていました。私はこの高校からたくさんのことを学びました。私はシンガポールに行ったことがある友達に会えてよかったと思いました。彼女は英語と中国語をととても上手に話すことができました。この学校で私は、日本の人々や文化がなんて素晴らしいものだと思います。彼らはとても礼儀正しかったです。

12月23日ホストファミリーと真田丸ドラマ館に行きました。真田丸ドラマ館はまさに真田氏の歴史について語っていました。

私とホストファミリーとクリスマスを祝うために、私たちは素晴らしい夜に夕食を楽しみました。

12月24日は山崎さんのお寺龍光院に行き、前山寺を訪れました。無言館に行きました。無言館は芸術館です。

12月25日は喜多友一さんの家に行きました。とてもフレンドリーな家族です。友一さんのお孫さんのまほちゃんやいとこもきて、遊び、笑い素晴らしいクリスマスの夜を楽しみました。

12月26日にホストファミリーのお父さんが上田染谷丘高校に行くために朝早く迎えに来ました。学校に行く最後の日でした。終業式の後、担任の先生がクラスメイトに私が帰国することを紹介しました。私は彼らに会えて幸せでした。

私は長い素晴らしい旅行ができて幸せでした。この間私を世話してくれたすべての人々に感謝いたします。ホストファミリーの両親の春原宗明さんとけい子さんと私の友達に感謝いたします。最後に日本に来る機会を与えてくれたスポンサークラブにも感謝いたします。ありがとうございました。

ホストファミリー 宮本 五生 タン・イー・チング 〈マレーシア〉

ホストクラブ/4R・1Z 【更埴LC】

期間/平成28年12月9日～12月15日

特急しなので篠ノ井駅に13時44分着。4R YCE第一委員長L.竹内よりYCE生を迎えました。第一印象、荷物が25kgとは思えないほどの重たい荷物で(基本的に派遣生の荷物は25kg以内と指導をされているはずですが…)大丈夫かなと心配に…。

我が家に着き滞在期間中のスケジュールを英語で表記したものを渡し、理解していただき、家族全員と嫁いだ娘(英語ができる)と5歳の孫も加わり雑談の中で、イー・チングの家族の話を楽しみました。

彼女はオーストラリアに兄二人と従姉妹がいるそうで従姉妹は少し日本語ができるという事で孫とスマホの動画で会話など楽しんでいました。

初日は市内観光で、姨捨駅からの景観と長楽寺の見学ですが、この日は私と妻の案内で英語は喋れず、彼女も日本語が全くダメで、どうしたかという、便利なスマホの通訳機能を駆使しながらの案内となりました。

県立歴史館と森將軍塚見学では歴史館の古代の生活様式に興味を示し、日曜は更埴ライオンズクラブの忘年例会と併せてウェルカムパーティで楽しいひと時を過ごし、翌12日は善光寺の見学参拝、回廊巡りを楽しみました。

その後は外国人観光客に大変人気の渋温泉のサルの温泉見学に行きました。その日はとても寒く雪もあり、母猿が子猿を抱いて温泉に入っている様子を見て大変感動した様で、その場から暫く離れませんでした。



13日は更埴ライオンズクラブの事務局で会長以下三役と数名の会員とで『おもてなし』です。内容は折り紙や塗り絵、会計のL.渡辺は習字の師範なので習字を習いました。

中国名の名前の書き方、手順などを習い、大変上手に書くことが出来るようになりました。

帰国後、彼女から娘に「夏にまた必ず日本にきます!」とメールが来たようです。

こんなメールを見れば、YCE生の受け入れをして良かったと、心から思えます。

是非皆さんも一度は受け入れを経験してみてください。貴重な経験が出来る筈です。

今は英語が出来ないからと尻込みするのではなく、スマホで会話が十分可能なのですから…。



24日、25日はクラブメンバーのL.山崎宅、L.喜多宅にてご家族と楽しくクリスマスをお過ごししました。

最終の27日はクラブ会員、支部会員、長野大学学生と共に上田城周囲のゴミ拾いの奉仕活動をし、終了後近くの喫茶店にてメンバーたちとお茶を飲み親睦を深めました。

彼女は日本人の優しさ、親切さを沢山感じたようです。また、日本人が英語を話せないことにびっくりしておりました。慌ただしい日程でありましたが素晴らしい日々と相互理解が出来た喜びを味あわせていただきました。

ホストファミリー 春原 宗明 タン・イー・チング (マレーシア)
ホストクラブ/4R・1Z 【上田城南LC】
期間/平成28年12月20日～12月28日

12月暮の8日間の短い期間でありましたが、マレーシアから16歳の可愛い中学4年生を迎えました。私と家内は全く英語が話せま



せんので、新潟の娘とシカゴにおります孫たちの手を借り、フェイスタイムの力を借りて新潟の次女に同時通訳を頼み、キャシーの名前やご家族の様子を話しました。彼女は全く日本語が通じませんので、子供や孫の協力とスマホの翻訳機を使っただけの会話であり、それで多少なりとも意思の疎通が図れました。

夕食は日本の味のすき焼きをしたのですが、肉以外はあまりすまないようでした。でも日本のお菓子が大好きな様で帰路にはお菓子を沢山お土産として持って行きました。21、22、26日との染谷丘高等学校にお世話になり、お友達もできました。特にラッキーだったのは昨年シンガポールで15年過ごした帰国子女がおり、ずっとお世話していただき本当に感謝いたしました。中国語も話せ本当に助かりました。

上田は真田丸ブームであり、大河ドラマ館見学のためその概略を予め中国語に翻訳してキャシーに渡しておいたの、少しは理解したようです。



〈滞在報告〉

Tan Yan Shing

タン・ヤン・シング (マレーシア)



私の受け入れを喜んで頂きありがとうございます。私は非常に感謝しています。

初日、車でホストファミリーに会った時、期待で心がいっぱいになったことを覚えています。ホストファミリーにお会いできたことを嬉しく思います。私の重い荷物を運んでくれたお父さんに感謝するとともに、お父さんはとても強くたくましい方だと思いました。そして、食事を作ってくれた素晴らしいお母さんにも感謝しています。毎朝早くからお父さんと私のために朝食の用意をしてくれてありがとうございました。私はとても感謝しています。私が滞在中、沢山の御金を使ったと思います。ホストファミリーの寛大さに感謝しています。しかしお父さんとお母さんにお別れを言わなければならない時が来てしまいました。

この2週間あなた方と過ごせて幸せでした。また日本に戻りホストファミリーに会いたいと思います。

お身体に気を付けて、ご家族が幸せで健康でありますように。そして私のことを忘れないでください。お父さん、お母さん長生きして下さい。ホストファミリーが私に沢山の良い時間を与えてくれたのでまた日本に戻ってきます。

ホストファミリー 小林 紀之 タン・ヤン・シング (マレーシア)

ホストクラブ / 3R・2Z 【安曇LC】

期間 / 平成28年12月9日～12月27日

クラブ例会において、この度マレーシアからのYCE生のホームステイ受入れ要請があり、我がクラブとして受入れると会長より話がありました。そこでどのメンバーの家庭で受入れ、そしてどのような日程と内容にするか話し合いが行われました。

まず、受入れ家庭は条件的に妻と二人暮らしであり、一昨年家を新築し空部屋があり、また、過去にマレーシアからYCE生を受入れた経験上、私が引き受ける事となりました。日程内容につきましては、メンバーそれぞれ協力し、日本国の素晴らしさ、また安曇野の自然、特に家の部屋から見える北アルプス常念岳の勇姿をしっかりとマレーシアへ伝えられたらとの思いを皆で共有し始めることになりました。そして妻には日本の食文化、日本食のおいしさを楽しめるよう献立を頼みました。このようにして滞在期間のユースキャンプの日程を除きスケジュールを組みました。事前に日本の同世代の高校生の実態を知る機会も必要ではないかと考え、一昨年私共のクラブからスウェーデンへ送り出しました南安曇農業高校へ体験学習をお願いしたところ、校長先生はじめ教頭先生、当時担任の生徒の先生が五日間ではありませんが快く引き受けてくださいました。

このような準備を調べ、私夫婦、二木幹事と三人で12月9日、松本駅へ迎えに行きました。電車から降りたシングさんの姿を見た時、私共は素晴らしい娘さんで安心しました反面、責任の重さと不安で始まりました。

まず、土曜、日曜の二日間は安曇野巡り、松本及び松本城の見学を私、そして二木幹事家族の皆さんで行い、歓迎ホームパーティーでコミュニケーションを図りました。



翌日から三日間、南安曇農業高校で体験学習、放課後は本人の希望でありますバドミントンクラブの皆さんと楽しみ、夜には私の家族四人で食事と会話を楽しみ、二木幹事のお孫さん、私の孫とは同年代で、英会話で交流が図れました。それぞれにとって、とても良い経験だったと思っております。

そして15日から20日まではユースキャンプに参加し、翌日から二日間、また南安曇農業高校でお世話になりました。最終日には、友人達がシングさんを松本市内へ案内して頂き、同じ目線で交流が出来た事に本人は感激しており、良い思い出となったと思います。

そして今回趣旨に賛同頂き、ご協力いただきました南安曇農業高校の校長先生、教頭先生、担当の先生、生徒さんには心から感謝しております。今後、安曇ライオンズクラブとして、ご恩を忘れてはならないと思っております。

その後の行動等は次の通りです。

23日

二木幹事ご家族と東京見学

- 東京スカイツリー
- 浅草仲見世通り 浅草寺
- 原宿・竹下通り

24日

●L.山下邦二社長店「ヤマ美容室」において振袖着物を着付け写真撮影(撮影はプロに依頼)

●夜、安曇野ビレッジ及び国営公園にてイルミネーション見学

25日 宮澤会長ご夫妻による山梨見学

●富士山、河口湖、富士急ハイランド等見学・体験

26日

●今日までお世話になった皆様、家族とのホームパーティーと反省、交流会を開催し、写真、お土産等プレゼント

27日

塩尻エンパークで見送り

後記/YCE生を受入れるにあたり、気候的に暑い国から日本の冬期、寒い環境での健康、そして描いて来た希望に添う事が出来るか心配しましたが、無事務めが果たせたと思っております。関係の皆様にご感謝申し上げます。



クローズアップアクティビティー

■1R・1Z 諏訪湖LC 2016年12月21日

諏訪市へ社会福祉基金贈呈



12月21日(水)、諏訪市平林副市長はじめ、日赤大和院長様や諏訪市商工会岩波会頭様、1R1Z L、金子ゾーン・チェアパーソン様をお招きし、第1367回クリスマス忘年例会を開催いたしました。この例会セレモニーにおいて、諏訪市の社会福祉向上に役立てていただこうと、諏訪市平林副市長様へ福祉基金を贈呈いたしました。諏訪市への福祉基金贈呈は、昭和51年から今回で32回目となります。

■1R・1Z 諏訪湖LC 2016年11月19日

長野県中島恵理副知事講演会



諏訪市民と共に、約90余名が諏訪市文化センターに集い長野県中島副知事をお迎えして講演会を開催。演題は「輝く女性が切り開く諏訪の未来」。富士見町在住10数年の体験を通しての、ご自身が実践されている男女共同参画の「はしり」と思えるご夫妻の役割分担などを、具体的に話していらしゃいました。又、社会が現在直面している貧困児童に支援可能な「育ボス」「温かボス」「フードドライブ」など耳新しい活動も教わりました。

■1R・1Z 茅野LC 2016年11月～2017年2月

薬物乱用防止教室開催



11月～2月期間で、7つの小学校で計11回「薬物乱用防止教室」が開催されました。怖い覚せい剤、大麻草、MDMAについて、しっかりと勉強しました。中学生、高校生。大学生、社会人となっても犯罪に巻き込まれることなく楽しい人生を送ってください。原小学校6年生、金沢小学校4～6年生、宮川小学校4～5年生、永明小学校5～6年生、湖東小学校6年生、北山小学校6年生、玉川小学校6年生。

■1R・1Z 下諏訪LC 2017年2月16日

薬物乱用防止の講演会



下諏訪町青少年健全育成協議会メンバーの研修会において当クラブメンバーによる「青少年と薬物問題について」の講演を行いました。町民ぐるみで、青少年を薬物から守る環境づくりに向け意見交換がされました。

■1R・2Z 飯田LC 2016年11月5日・6日

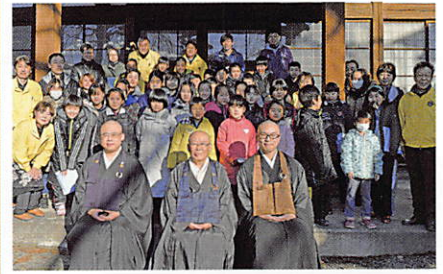
第22回飯伊少年サッカー大会 ライオンズカップ



飯田ライオンズクラブ・飯田サッカー協会の主催事業として、飯田市・郵便局長会・写真のオリーブの後援を頂き、第22回飯伊少年サッカー大会 ライオンズカップを、昨年に引き続き開催しました。参加した少年少女サッカーチームは、飯伊地区小学生の12チーム。どのコートでも白熱した試合が展開されました。優勝したチームも敗れたチームも普段の練習の成果をいかに発揮した試合を見せてくれました。

■1R・2Z 伊那LC 2017年2月26日

親子坐禅



伊那LCで毎年恒例の行事となっている親子坐禅。伊那市内のスポーツ少年団やガールスカウトなどの子供たちと父兄など合計69名が参加。当日は朝6時から粥を炊き、子供達が座禅をしている間に配膳を整え、たくさん食べてもらった。食べる前には住職から作法についても教えがあり、子供達には良い経験になったかと思う。食事の後は、庭で記念撮影、文房具などの記念品をプレゼント。爽やかな朝のアクティビティだった。

■1R・2Z 駒ヶ根LC 2017年1月15日

駒ヶ根スポーツ少年団交流大会参加



駒ヶ根スポーツ少年団へ活動支援金として10万円を寄贈しました。これは、青少年健全育成事業の一環として毎年行っている事業で、同団レクリエーション交流大会で同団本部長へ手渡しました。日ごろは違うスポーツをする団員が、みんなで同じスポーツを楽しむ交流会。各団員は、所属する団の名譽にかけて熱い戦いを繰り広げました。

■1R・2Z 飯田赤石LC 2016年12月4日

クリスマス献血



アピタ飯田店駐車場で、飯田女子短期大学「保健奉仕サークル」の協力によりクリスマス献血が行われた。冬場でなかなか足を止めてくれる人が少なかったが、短大生との協力により若年層の献血意識を高めてもらうよう熱心に呼びかけた。400ml/73名 計29,200ml(受付90名) 献血にあわせて献眼登録受付も行い、4名の登録があった。

■2R・1Z 長野LC 2016年12月17日・22日

障がい児支援施設「クリスマスアクティビティ



今年も障がい児支援施設「篠ノ井 愛の樹園」[にじいろキッズらいふ]の2施設を訪問し、クリスマス・アクティビティを実施。西宮会長がサンタクロースに扮し、子ども達にお菓子をプレゼントし、参加したライオン全員がゴレンジャー・アンパンマン・もみの木・トナカイ等に仮装し、寸劇を披露し子ども達からは大喝采でした。今後も障がい者福祉の取り組みとしてライオン自らが汗をかく形で事業を行い、地域社会に貢献して参ります。

■2R・1Z 長野松代LC 2017年1月17日

ライオンズ文庫費贈呈並び古切手回収



松代町町内、小中学校へ毎年ライオンズ文庫費を贈呈しています。活字により親しんでもらい、夢に向かい大きな希望をもって、勉学に励んで欲しいと願っています。

その折に、一年間にわたり収集してもらった古切手の回収をします。1枚、1枚ハサミでカットして、大事に集めてくれる子供の思いがきっと、大事な心を育ててくれると信じ活動を続けています。

■2R・1Z 長野グリーンシティLC 2016年11月19日

チャリティーポウリング大会



長野グリーンシティライオンズクラブでは2016年11月19日(土)長野市高田にある「ヤングファラオ」にて、青少年健全育成事業チャリティーポウリング大会を開催しました。

今年初めての開催でしたが総勢32レーン、110名の多数の参加者が優勝めざしてプレイしました。優勝、準優勝、3位にはメダルが授与され、また、その他の賞も多数あり楽しい大会となりました。

■2R・2Z 須坂LC 2017年2月9日

小中学校・支援学校18校へ希望図書贈呈



今年で27日目となる、市内小中学校・支援学校・高山小中学校18校へ希望図書贈呈。これは生徒より読みたい本のリストを提出していただき、希望図書として贈呈するものです。

贈呈後、学校よりお礼の感想文が徐々に届いており、中でも低学年の生徒からのお便りには、子供さんの本離れが嘘の様な感謝の感想文が届いております。実施:18校・174冊。

■2R・2Z 飯山LC 2016年11月3日

秋の献血・献眼登録運動の実施



飯山ライオンズクラブ恒例の「秋の献血運動」を実施しました。当日は飯山えびす講市も開催されており、多くの人で賑わいました。

献血にもたくさんの方にご協力いただきました。

- ・受付者数 49名
- ・400mL 41名
- ・200mL 0名

■2R・3Z 長野篠ノ井LC 2016年12月25日

ライオン子ども食堂



阿部知事のこどもの貧困への問題意識を受け、その解決への具体的事業として、2R3Z大日方尚ゾーンチェアパーソンから「子ども食堂」開催の提案があり、12月25日に第一回ライオン子ども食堂を開催しました。当日は56名の参加者と運営スタッフ等、計約100人が集まり、パルーンアートやマジックショー、カツカレーやおでんの食事を楽しみました。

■2R・3Z 長野りんどうLC 2017年2月6日～12日

第18回小学生530(ゴミゼロ)ポスター展&表彰式



恒例となった「小学生530(ゴミゼロ)ポスター展」も18回を迎えました。

2017年2月6日に「ながの東急シェルシェ」に展示し、12日に表彰式を行いました。

市内6校から286点の応募があり、多くの市民の皆様に見ていただきました。

子供たちのポスターの力はとても大きく、多くの人たちの心に残ったことでしょう。

■2R・3Z 信州新町LC 2016年11月4日

新町小学校 中学校給食へ秋刀魚提供



東日本復興支援活動、今年で3回目となる学校給食へ秋刀魚250匹提供する。

会員が宮城県石巻漁協へ出向き運んで来て、昇降口で児童の代表に手渡す。

クラブ会員4名がランチルームで一緒に給食を味わった。

■3R・1Z 松本LC 2016年11月6日

大音寺山への植樹



2016年11月6日に、松本市浅間にある、大音寺山への植樹活動を行いました。

平成14年にこの辺り一帯の山火事により、丸裸になった山を元に戻そうという取り組みであり、松本ライオンズクラブとしてサルスベリ6本、ツツジ23本を寄贈し、植樹しました。

■3R・1Z 松本LC 2016年12月12日

松本赤十字 乳児院への寄贈



2016年12月12日に松本赤十字乳児院への寄贈活動を行いました。

松本ライオンズクラブが長年にわたり続けている事業であり、乳児院の子供たちの生活にお役に立てる物を寄贈しています。

今年は、ガーゼキットと綿織毛布を30枚を宮沢院長様にお渡しさせていただきました。

■3R・1Z 松本深志LC 2017年1月11日

「交通及び災害等遺児基金」に寄付



1月11日、当クラブ三役は松本市役所を訪れ、松本市の「交通及び災害等遺児基金」に15万円の寄付をしました。

当クラブでは、昭和47年より毎年寄付しており、これまでの累計は1429万6000円になりました。

■3R・1Z 松本アルプスLC 2016年11月6日

第5回 泉小太郎祭り 協賛・参加



当松本アルプスライオンズクラブ結成25周年事業として、1989年に弘法山の麓に松本地域に伝わる民話より「泉小太郎」ブロンズ像を建立いたしました。

4年前より、中山地区公民館主催により、「泉小太郎祭り」を開催しています。

5回目となる今年は、第40回中山地区文化祭との同時開催でした。セレモニーの中で、クラブより協賛金を贈呈いたしました。

■3R・1Z 松本中央LC 2016年11月30日

中学校で手話講習会開催



松本市波田中学校1年3組にて、手話講習会を開催しました。

この講習会は青少年健全育成を目的に、NPO法人松本市聴覚障害者社会参加支援協会の協力の下、理事長の花村有利子様を講師に招き、手話の基礎と自己紹介の仕方を学ぶ講習会をしてもらいました。

生徒たちは皆興味を持って熱心に講習に取り組み、2時間の間に一人一人手話での自己紹介を実践しました。

■3R・2Z 安曇LC 2016年12月15日

100周年記念奉仕チャレンジ植樹



安曇野市内在籍の3クラブ(安曇・明科・穂高)では、ライオンズクラブ創立100周年記念植樹について検討した結果、昨年2月に3クラブと安曇野市は青少年健全育成や環境保全などの連携協定を締結したこともあり、安曇野市庁舎敷地内に植樹し、緑化に貢献することになりました。

市役所を3クラブの会長、幹事が訪問し、市長室で高さ約8メートルのノムラミジの贈呈式を行いました。

■3R・2Z 穂高LC 2017年12月23日

穂高少年硬式野球連盟合同桜並木清掃



安曇野市穂高有明にある北部運動公園の清掃奉仕を行いました。この公園にある約100本の桜並木は2000年に植樹したもので、毎年消毒や枝打ちなどの環境整備をしています。今回は、当クラブが、このグラウンドを練習の拠点としている穂高少年硬式野球連盟へ支援をしている関係から、この日卒団式を迎える少年たちと一緒に清掃奉仕を行いました。

■3R・3Z 塩尻LC 2016年11月5日

塩尻駅前花壇整備とラベンダーの冬越し作業



「ラベンダーin塩尻の会」に協力参加して年2回、2年間継続している奉仕活動である。

天気に恵まれ朝の7時からの作業であるがラベンダーの香りが心地よく作業にもつい力が入り時間を忘れてしまう。この時期にラベンダーの冬越し作業をしておくことで春になるとたくさんのラベンダーが咲き誇り、駅を訪れるとラベンダーの香に癒される。

駅周辺の落ち葉も片付けきれいにになりやりがいのある奉仕活動であった。

■3R・3Z 明科LC 2017年1月3日

成人式における献眼登録受付とPR活動



生坂村の成人式が「やまなみ荘」大ホールにおいて行われ、当クラブは会場入口にて献眼登録受付を実施致しました。

献眼への理解と目の大切さを深めていただくため、パンフレット等を配布してPRと呼びかけを致しました。

17名の方に献眼登録にご協力いただきました。また、式典会場にはクラブのPRを兼ねて祝スタンド花一基を贈り、新成人の門出を祝しました。

■3R・3Z 塩尻桔梗LC 2016年11月13日

塩尻桔梗ライオンズクラブ杯第5回車いすダンススポーツライオンズカップ



塩尻市内の小学校体育館を借り、車いすダンススポーツとダンススポーツの演技と普及型トライアルを開催車いすダンススポーツとダンススポーツのスタンダード、ラテンの競技を行う。

途中車いすダンスの講習会、デモンストレーション等も行いました。

民放4社、新聞社2社が取材を行い、ニュース等にて数回放送されました。

■4R・1Z 丸子LC 2016年11月6日

茅野・丸子レオクラブ合同研修会



1年に1回、茅野と丸子のレオクラブが親睦を深めることを目的に合同研修会を開催しています。今年は丸子LCがホストで軽井沢アイスパークにて開催しました。

当日はレオ23名とレオ委員長1名の24名が、ニット帽と長ズボン、ジャンパー姿で寒いスケートリンクにてカーリングのゲームまで楽しむことが出来ました。オリンピック種目でもあり、注目度の高いカーリングを、小学生から高校生までのレオがプレーしているのは不思議な気がしましたが、満足そうな笑顔が印象に残る良い研修会だったと思います。

■4R・1Z 上田LC 2016年11月14日

蓮の音こども園との交流会



社会福祉法人 上田明照会「蓮の音こども園」(発達に課題を持つ未就学児の通う園)との交流会を香青軒で開催し、園児とその保護者、職員、学生ボランティアにクラブメンバーを加え、総勢74名が参加。

会場や内容等に変更はあっても、園ではこの交流会を毎年心待ちにしてくださっているのです、さらに喜んでいただけるよう検討・企画し、これからも継続していきたいと思います。

■4R・1Z 更埴LC 2016年12月21日

稲荷山福祉施設へのクリスマス訪問



毎年恒例のクリスマス訪問です。施設のクリスマス会に合わせてケーキの贈呈をしております。

■4R・1Z 東御LC 2017年2月27日

東御清翔高校1年生対象「薬物乱用防止講演会」



「限られた人生の時間を無駄にしないように」をサブテーマとして当クラブのL.宮坂和夫が講師となり、東御清翔高校1年生110名を対象に、薬物乱用防止講演会を行いました。

薬物乱用防止のDVDを鑑賞した後、L.宮坂が薬物に手を出してしまった事から、体・心が壊れるだけでなく家族も不幸にするという薬物の恐ろしさを語りました。

■4R・1Z 上田城南LC 2016年11月16日

第7回チャリティーゴルフコンペ



恒例となっております「上田城南ライオンズクラブチャリティーゴルフコンペ」を開催致しました。

今年は「災害支援」に力を入れ、災害が発生した時に早急に対応するためのチャリティです。

ライオン、趣旨に賛同した一般の方にも大勢参加していただきました。

■4R・1Z 坂城LC 2016年12月9日

坂城町内養護老人ホーム4施設慰問



毎年行っている養護老人施設4件の慰問を行いました。

毎年楽しみにしていただいている方もいて、訪問の際には笑顔で迎えていただきました。皆さんいつまでもお元気でと声をかけ花を贈呈しました。

中には、改装中の施設もあり利用者さんがより過ごしやすくなるよう、良かったです。毎年訪問していなければわからないこともあります。

今後もこの慰問を続けていきたいと思います。

■4R・1Z 戸倉上山田LC 2016年12月22日

ふれあい年賀状



毎年恒例の「愛のふれあい年賀状」活動。地域内にある4つの小学校の児童の皆さんに書いていただいた年賀状を同じく地域内にある4ヶ所の高齢者福祉施設に入居されている方にお届けしました。

児童たちのおかげで今年もかわいい年賀状を届けることができました。

■4R・2Z 佐久LC 2017年1月21日

ライオンズカップ・ミニバスケットボール大会



青少年育成・震災支援の目的で佐久市との連携事業として、第2回ライオンズカップ・ミニバスケットボール大会を佐久市総合体育館において開催。

男子8チーム、女子5チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

男女優勝チームは2017年3月に佐久市の友好都市である岩手県大船渡市へ佐久LCのメンバーとともに遠征し、地元チームと交流試合をし、親交を深め、大船渡LCを通じて義援金を寄付する予定。

■4R・2Z 軽井沢LC 2016年11月8日

児童養護施設の落ち葉清掃と植樹の手入れ



長年継続事業としている児童養護施設「軽井沢学園」の落ち葉清掃と植木の剪定を行いました。メンバーの造園業のプロに剪定をお願いし、お天気も良く作業が捗り全員で汗を流し、毎年の事で感謝される奉仕が出来ました。

施設側でも手のまわらない事なので、大変喜ばれる奉仕でした。

■4R・2Z 望月LC 2016年11月6日

グリーンボランティア



協和育成会と望月ライオンズクラブの会長の話の後、午前9時より望月小中学生40名程とメンバーが小学校から3班に分かれて通学路のゴミ拾いを行いました。子供達は細かいゴミまでしっかり拾っていました。

メンバーは歩道がない反対側のゴミ拾いもしました。

第55回OSEALフォーラム香港参加報告

開催日／平成28年11月10日～13日
会場／香港アジア・ワールド・エキスポ



334-E地区佐藤義雄国際理事候補者
支援委員会事務局長
L.北川 哲男【長野みすずLC】

佐藤義雄国際理事候補者をエンドース!

第55回東洋・東南アジア(OSEAL)フォーラムが2016年11月10日から13日まで香港アジア・ワールド・エキスポにおいて開催された。

このフォーラムは、東洋・東南アジア構成国の300複合地区(台湾)、301複合地区(フィリピン)、380～390地区(中国)、303地区(香港・マカオ)、308地区(マレーシア・シンガポール・ブルネイ)、310複合地区(タイ)、330～337複合地区(日本)、354～356複合地区(韓国)によって持ち回りで開催される。

今回の香港フォーラム、構成各国より8,600人を超える参加者があり、日本からはおよそ1,800人、334-E地区からは52名が参加したが、特筆すべきは、近時拡大を続ける中国からの2,000人近い参加者で、開会式では赤いジャケット軍団の歓声が際立っていた。

フォーラムでは、いくつかの決議が発表されるが、会則でいう大会ではないため、拘束力を持った決議権はなく、紳士協定的な意味合いを持つのみであるとされる。とはいえ、翌年度の国際理事立候補者を東洋・東南アジア区域として事実上承認(エンドース)するという重要な側面を有し、今回のフォーラムは、2017～2019年度国際理事候補者L.佐藤義雄と当334-E地区とにとっては、特別な「機会」であった。

候補者は、コーカスミーティングでの英語による立候補表明、招待制のジャパン・ナイトの主宰などの役割を負うが、12日に大会場内のレストラン「IKON」において催されたジャパン・ナイトには、350名を超える招待者が来場し、ボブ・コーリュー国際会長が壇上で候補者の手を取り「ヨシオ・サター」を連呼し、大変な盛り上がりを見せた。

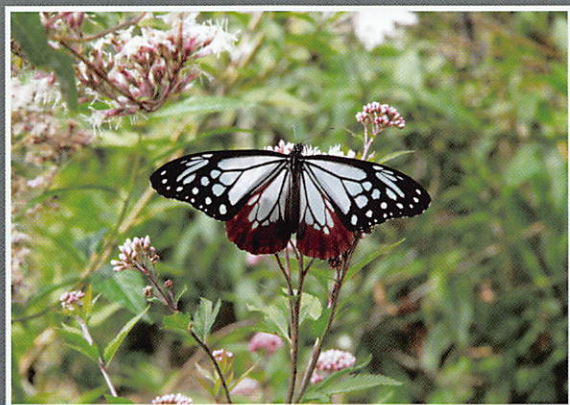
そして、最終日の「第3回協議会議長と地区ガバナーの会議」において正式に佐藤義雄国際理事候補者の立候補がエンドースされ、シカゴ国際大会での就任に向けて大きな一歩を踏み出した。



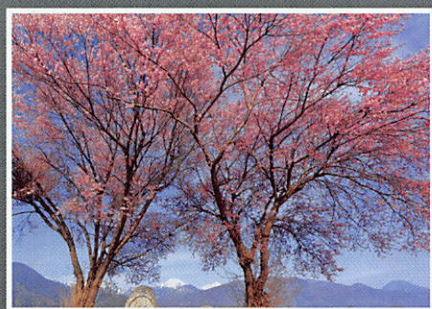
ライオン環境保全写真コンテスト 第29回平和ポスターコンテスト

334-E地区代表作品決定!

ライオンズ環境保全写真コンテストは、ライオンズ会員が、環境の改善、保護、保全に対するプライドと献身をオリジナルの写真を通して表現できる機会です。優良なライオンズ・クラブの会員は誰でも、身近の環境を撮影した写真をクラブレベルの「ライオンズ環境保全写真コンテスト」に投稿できます。コンテストはクラブレベルから開始し、入賞した写真が、地区レベル、複合地区レベル、国際レベルの審査へと進みます。基準をすべて満たしているものはライオンズ国際大会で展示され、大会登録参加者が各カテゴリーの中で気に入った作品と、応募作品全体で気に入った作品に投票します。6枚の受賞作品がコンテスト受賞者ページに掲載され、それらの作品の撮影者であるライオンズ会員に賞が贈られます。



334-E地区最優秀作品「海を渡る蝶アサギマダラの不思議」
L.水沢 仁亮【長野千曲LC】



334-E地区最終選考作品「日本の原風景」
L.酒井 康弘【東御LC】



334-E地区最終選考作品「仲良し」
L.牧島 捷直【松本深志LC】



334-E地区最終選考作品「木霊の湖」
L.塩原 治男【塩尻LC】

平和ポスター・コンテストは、世界中の児童に平和へのビジョンを表現するよう奨励するものです。25年以上に渡り、約100カ国から何百万人もの子どもたちがこのコンテストに参加してきました。ライオンズクラブだけが、近隣の小・中学校や青少年の団体でのコンテストをスポンサーできます。対象者は、その年の11月15日に11～13歳になっている生徒となっています。



朝陽小学校6年(11歳) 二瓶 心寧【スポンサー/長野LC】

骨髄移植推進フォーラム2016・献血推進アドバイザー認定講習会実施報告

地区献血・骨髄移植委員長

L. 安保 隆充【松本中央LC】

【骨髄移植推進フォーラム2016実施報告】

開催日／平成28年11月20日

会場／長野県看護協会会館

長野県骨髄移植推進フォーラム2016が平成28年11月20日(日)に、長野県看護協会会館にて今回初めて開催されることになりました。今回のフォーラムは、長野県とライオンズクラブが共同で開催しました。初めにライオンズクラブを代表して地区ガバナーL.武田善彦より挨拶があり、続いて長野県を代表して長野県健康福祉部部長山本英紀様より挨拶がありました。続いて骨髄移植推進や長野県の現状について公益社団法人日本骨髄バンク広報渉外部鈴木慶太様より説明がありました。

基調講演に入り、諏訪市からお越し頂いた笠原千夏子様の体験談と現在の活動についてのお話をいただきました。笠原様は2012年に白血病を発症し現在は完治。ご自身の体験から一人でも多くの患者さんを救うために、骨髄バンクドナー登録説明員の長野県第一号として登録。その後「骨髄バンク長野ひまわりの会」を立ち上げ、ドナー登録者を増やす活動をしているとのことでした。

二人目の基調講演は、新潟県上越市からお越しいただいた斉木桂子様との体験談と現在の活動についてお話をいただきました。平成17年当時小学3年の長男が骨髄移植が必要な難病と診断され、骨髄バンク迅速コースに登録するもドナーが見つからず、骨髄移植を断念。臍帯血移植に臨んだが翌年4月に他界(享年10歳1ヶ月)。その後長男と同じ病気を持つ次男にも骨髄移植が必要となり再度患者登録。平成19年11月提供者が見つかり、骨髄移植を受け順調に回復。

今は有志らとNPO法人骨髄バンクサポート新潟を設立し事務局を務めている。長野県の骨髄バンク登録者数は全国最下位。提供できるドナーが少なく、助からない人がいるとの事。

ライオンズクラブとして今後の課題は、講演会の場を広げ、多くの人に現状を伝えてドナー登録者を増やしていきたいとの思いが強く心を打たれました。

骨髄移植推進フォーラム2016

主催 長野県 ライオンズクラブ国際協会334-E地区



骨髄バンクは
あなたの登録を待っています。
☎0120-445-445
http://www.jmdp.or.jp/ http://www.donorsnet.jp/

講師
骨髄バンク長野ひまわりの会
代表
笠原 千夏子



地区献血・骨髄移植委員長 L. 安保隆充



武田地区ガバナー



長野県健康福祉部 部長 山本英紀様



講師・骨髄バンク長野 ひまわりの会代表
笠原千夏子様



講師・NPO法人骨髄バンクサポート新潟理事長
斉木桂子様

【献血推進アドバイザー認定講習会実施報告】

開催日／平成28年11月25日

会場／塩尻市総合文化センター講堂

献血推進アドバイザー認定講習会が、平成28年11月25日(金)14時より、塩尻市総合文化センター講堂にて開催されました。司会はキャビネット幹事L.菊池宏一郎、開会の言葉を3R1Z地区献血・骨髄移植委員L.濱恒徳、地区ガバナーL.武田善彦が挨拶を行いました。また地区献血・骨髄移植委員長が挨拶と講師紹介を行いました。

講師には長野県赤十字血液センター献血推進課長百瀬克彦様、諏訪出張所事業課長村田近文様、推進一係長仁科健二様、中島健太郎様の4名が、「あなたも献血推進アドバイザー」「愛のかたち献血」「献血Walker」「400ml献血のお願い」「血小板成分献血のお願い」等の講習を行いました。休憩後、DVD「人は、人のチカラになれる」を上映し、その後質疑応答がありました。最後に3R3Z地区献血・骨髄移植委員L.重野信孝の閉会挨拶で終了しました。

講師4名、地区委員11名、受講者27名の計42名が参加しました。

薬物乱用防止教育認定講師養成講座実施報告

開催日／平成28年11月29日 会場／ホテルブエナビスタ

地区薬物乱用防止委員長

L.平林 正臣【塩尻桔梗LC】

11月29日58名の参加を頂き「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が開催されました。内容として、専門講座「薬物乱用防止対策の取り組み」と題して長野県健康福祉部薬事管理課麻薬毒劇物係長有澤美加様より薬物事犯者の全国状況・青少年に忍び寄る大麻について・国の薬物乱用防止対策について・長野県の薬物乱用防止対策についての講演があり、続いて専門講座「長野県に於ける薬物乱用の現状」と題して長野県警察本部刑事部組織犯罪対策課麻薬銃器対策係長深谷芳則様より、最近では長野県に於いて11月に大麻所持で22人を逮捕した事例なども含め、近年大麻の検挙者が増加しているとの発表がありました。続いて専門講座「薬物乱用防止教育者の現状」と題して長野県教育委員会事務局保健厚生課保健安全係指導主事堀内雅司様による講演があり、第4次薬物乱用防止5ヵ年戦略では全ての中学校及び高等学校に於いて年1回は開催すると共に小学校に於いても地域の実情に応じて開催に努める事などの講演がありました。最後に実践講座として、ライオンズクラブ330複合地区薬物乱用防止委員長L.寺田義和様より学校に於ける薬物乱用防止講座の開催に当っては、薬物乱用は1回だけでも乱用であるという事を強くお話しする事。日本ライオンズクラブ誕生以来今までに20万人の薬物乱用防止を訴えてきた経過があるとの講演を受けました。薬物乱用防止教育認定講師として認定されたライオンズメンバーには、其々の地域に於いて講師として実践される事を望みます。



長野県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会実施報告

開催日／平成28年12月10日 会場／松本市勤労者福祉センター



地区レオ・青少年委員長

L.丸山 勝也【白馬LC】

12月10日に長野県青少年育成指導者青少年サポーター研修会が開催されました。参加者は130名で県が力を入れて諸団体に活動を促しています。当日は3分野に分かれ3氏の講演をお聞きしましたので簡単に感想を申し上げさせていただきます。

- ①性被害の実情とその後の人生に及ぼす影響について。…人として生きる上で大切な安心、安全、自尊心、自己肯定感を他人によって踏みにじられ奪われる残酷この上ない魂の殺人だと思われる。性被害を受けても人に話せない事が多い。もし打ち明けられた場合、自分は人から信頼され選ばれた存在だと思ひ、心の回復に協力を惜しまないで欲しい。
- ②あいさつ運動の体験から。…あがたの森を中心とした半径850m範囲内の8校の小学校から高校迄の子供達が「あがたの森サミット」にて決定したあいさつ運動が地域の児童と大人を結び付け今日に至っています。子供達の発想で立ち上げた活動の重要さを感じました。
- ③子供の居場所づくりに取り組んで。…松本市並柳地区では子供の居場所として「なみカフェ」を開設し学習支援、食事提供、悩み相談等複数の機能を持たせた。子供達は次第に楽しく感じ参加者が増え、スタッフもやりがいを持たた。今後の課題は子供の欲している事は何かを明確に把握したいとの事。

以上の講演をお聞きして具体的に何に取り掛かるのが良いか深く考えさせられました。

趣旨 説明

長野県では、本年「長野県子どもを性被害から守るための条例」を公布・施行しました。本条例では、威迫等による性行為等の禁止と深夜外出の制限のみを規制し、有害図書やインターネットなどの青少年の有害環境の排除に関する規制は行わず、引き続き県民運動で対応することにしており、更なる県民運動の充実が求められています。そこで、青少年サポーターをはじめとする青少年の健全育成に携わる方々を対象に、性教育・人権教育等を学ぶ場を作り、今後の活動の参考にしていただくため、本研修会が開催されました。

FWT女性シンポジウム実施報告

開催日／平成29年2月26日 場所／ホテルブエナビスタ

地区FWT委員長

L.太田 伸子【白馬LC】


「目標に向かって世界に飛び立つ」をテーマに、リオデジャネイロ五輪シンクロナイズドスイミング団体銅メダリスト箱山愛香さんの基調講演を頂きました。すらりと姿勢のよい女性で、さわやかな笑顔がとても印象的でした。可愛く優しい声でお話が始まり、リオ五輪で獲得された本物の銅メダルを、惜しげもなく会場の皆に回してくれました。本当に重かった！大きかった！これがスポーツの祭典の最高峰、皆が目指すオリンピックのメダルなのだと実感しました。このメダルを目指してこの可愛いお嬢さんは、どれだけの努力をされたのだろうと講演に期待しました。

飾らない素直な言葉で、シンクロに入ったきっかけから、あの有名な井村コーチのエピソードまで素晴らしい講演でした。目標を「オリンピックに出る」と措くのと、「オリンピックでメダルを取る」との違い、高みを目指す難しさをさりげなく話されていましたが、心からの言葉で時間の経つのも忘れて聞き入っていました。

後半は、『世界に翔び立つ子どもを育てるには(夢と希望を持たせる教育)』をテーマに、パネルディスカッションを行いました。パネラーは、箱山愛香さん、ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝された二山治雄さんを育てた白鳥バレエ学園講師、塚田まゆりさん、ガールスカウト長野連盟長、原礼子さん、地区FWTコーディネーター、L.山浦悦子です。

子どもたちの良いところを見極め引き出す環境づくりや、目標を持つことの大切さをお話してくださいました。子供にとって目標を見つけることは簡単ではないのですが、まずは身近なところから見つけても良いのではとアドバイスを頂きました。原連盟長が以前園長先生をされていた時、塚田さんの教え子の二山治雄さんが通っていたなど偶然が重なり、二山さんのご家族の素晴らしいサポートのお話もお聞きすることができました。ご本人の努力はもちろんですが、関わる全ての皆の力、心の支えが大切なのだと思います。

会場は約100人の来場をいただきましたが、ほのぼのとした雰囲気女性シンポジウムを終えることができました。FWT委員会はライオンズクラブの中では、新しい委員会ではありますが、今回のシンポジウムで教わった目標を持つことの大切さを活かして、発展に繋げていきたいと思えます。



リオデジャネイロ五輪シンクロナイズドスイミング団体銅メダリスト 箱山愛香さんをお迎えして
基調講演
「目標に向かって世界に翔び立つ」
(講師プロフィール)

- 1991年7月27日長野市生まれ(25歳)
- 小2でシンクロを始め、長野日大高校から日体大へ。

2010年 シンクロワールドカップ日本代表入り。
2012年 ロンドンオリンピック出場。チーム5位入賞。
2016年 リオデジャネイロオリンピック出場。チームで銅メダル獲得。



武田善彦様
今の自分を
今越えろ！
箱山愛香
Mermaid Japan
2017.2.26



パネル ディスカッション

「世界に飛び立つ子供を育てるには?～夢と希望を持たせる教育～」

パネリスト

- ◆シンクロナイズドメダリスト 箱山 愛香 様
- ◆ガールスカウト長野県連盟 原 礼子 様
- ◆白鳥バレエ学園講師 塚田 まゆり 様
- ◆地区FWTコーディネーター L.山浦 悦子

ライオンズ レガシー

我がクラブの

諏訪湖LC

**児童養護施設
つつじが丘学園植樹
と子供達との交流**
2016年7月30日
(継続事業)

岡谷市にある児童養護施設つつじが丘学園で暮らすのは2歳〜20歳までの約30人。

子供達の礼儀正しい素直さは先生方の真心からの教育の賜と感じました。くっつくのない瞳で接してくる子供達に、このまま真っ直ぐに成長してほしいと思いました。

子供達と学園の周りに植樹したどんぐりの木やつつじの木はライオンズ100周年記念を意識して植樹したもので、この事業は3年計画で来年度・再来年度と続きます。

植樹した木はやがて大きく育ち、子供達の通用口に掲げた、「ただいま、いってきます」の可愛いプレートは、当クラブで力を入れている挨拶運動にも配慮した。一緒に植えた子供達が大きく育ち、いつの日かこの学園を訪れた時、ライオンズクラブの人達と植えた事を覚えていたら嬉しい。

その一言が人の心を暖かくしたり、その一言が人の心を傷つけたりもする、地域を心豊かな社会にするには相手を思いやる限りなく優しい真心の奉仕でなければならぬと思います。



岡谷LC

**愛の床ずれ防止枕と
国際交流**
1983年
(継続事業)

ますます高齢化社会が進み、長年病床に伏し、寝たきりになると床ずれが出来て大変苦しまれます。古老の言い伝えで床ずれのできそうな箇所には小豆を袋に入れてあてがえばよいというヒントを得て、1983年より第6代会長の発案で、小豆より保水性、通気性、粒の移動性、柔軟性、わずかな動きにも無抵抗を示し、洗濯もよく効く特性のある発泡ビーズを代用した、床ずれ防止枕の作成を始めました。

枕の布は裁断から縫製まで会員と会員の家族が行い、手作業で一つ一つ行っています。毎年社会奉仕委員会が中心となって、市内の病院関係と社協の皆さんと、サイズ(大・中・小)の枕をいくつ必要かを協議して決めています。今年度は平成28年11月26日に行い、927個の枕を製作しました。年々需要が高まっております。また当クラブは2つの姉妹クラブがあり、1972年より韓国金の泉ライオンズクラブと45年、また1975年より台湾の新竹市中央ライオンズと37年のお付き合いが続いております。



茅野LC

第38回晴ヶ峰清掃
1979年
(継続事業)

茅野ライオンズクラブでは献血運動・献眼運動等多くの継続事業を奉仕しておりますが、特筆する事業の一つに今年度第38回となる晴ヶ峰清掃があります。

この事業は茅野市の西の玄関口であります。伊那側の峠の山道約3kmの清掃活動ですが、高低差とカーブの多さでかなりハードな清掃となります。また、地元環境自治会員各位と茅野レオクラブの会員にも呼びかけた合同作業として行っております。古くは解散した高遠ライオンズクラブが峠の伊那側を同日に作業しておりました。

この道は桜で名高い高遠城跡公園への諏訪ICからの入口でもありますので、峠の茅野側には、かつて茅野ライオンズクラブが植樹したタカトウコヒガンザクラの桜並木が美しく育ち、春には多くの花見客を出迎えております。55年を迎えた当クラブであります。後世に伝えてゆきたい美しい峠道の清掃奉仕であります。



下諏訪LC

**ライオンズクラブの
交流から町同士の
つながりに!**
1981年
(継続事業)

下諏訪LCと南知多LC交流が今から36年前から始まりました。会員同士の交流だけでなく、特産品をそれぞれの町民に提供できたらとの発想から、9月には南知多より鮮魚を、11月には下諏訪から林檎を贈るようになりました。鮮魚も林檎も共に自然相手であり、今年は鯛の水揚げが出来るかな? 台風が来たけど林檎は大丈夫かな? と会員全員が心配で実施されるまでハラハラドキドキです。お陰様で、今まで一度も中止にならず続けてこられました。

ご協力頂いた関係者の皆様に本当に感謝です。

今年も下諏訪町農業祭の時、また南知多産物祭に合せて実施され、共に二千人を超える皆さんに無料でお配りできました。今では慣例となり、町民の方々も楽しみに待っているようになりました。

LCの交流から町同士が災害協定の締結や毎年交互に子供達がお互いの地域を訪れての交流体験も始まりました。更に強力につながりになる事を祈念しながら、この事業を続けて参りたいと思っております。



飯田LC

**飯伊小学校
管楽器交歓演奏会**
1991年12月1日
(継続事業)

創立56年になります飯田LCの特記するアクティビティは、青少年育成事業と考えます。多くの労をかけ、スポンサーの元を訪ね歩き、子供たちの発表の場を演出しております。

飯伊小学校管楽交歓演奏会(第38回)を主催し毎年続けています。管楽器演奏会を目標に生徒と顧問の先生が、毎日揃って練習を重ね「夢、希望、達成感、感激」を気持ちにおいて、演奏会に向かってチームワークを育てつつ、モチベーションの高騰をはかり、ひとつ目的に向かって多くのものを蓄えてくる。演奏を聴いていると、けれどものびやかな表情の生徒から素晴らしい音楽と共に、彼らの練習風景が目に見え心に感動が溢れ溢れてきます。顧問の先生方も、またたく奉仕活動で行っているわけですが、生き生きと活動されている姿が美しい。父兄の方々も、演奏が無事おわると、リズムをとったり、真剣に聞いている顔が、ホッとしたりは笑む。

このアクティビティの認識が浸透してきて、取り組む意識が、仲間たち、家族、学園を、豊かな精神の向上に役立てば本望です。



国際協会が創設100周年を記念して推奨している「レガシープロジェクト」。

334-E地区では、これまでも各クラブが実施してきた素晴らしい「我がクラブの」ライオンズ・レガシーがあります。今も形として残っているものや刻印、銘板のあるアクティビティだけでなく、地域にインパクトを与え続けている事業、取り組みなどを毎月リジョン別に紹介させていただきます。

1R 編

伊那LC

障がい者 社会就労センター 合同クリスマス会

2005年12月15日、
(継続事業)

伊那ライオンズクラブでは、継続事業として伊那市社会福祉協議会が運営する3つの障害者社会就労センターの合同クリスマス会に協力しています。この事業はライオンズクラブの精神である社会奉仕活動の一環として平成17年から継続しています。クリスマス会では120名ほどの利用者が楽しめるよう内容を検討し、メンバーがポップコーンを作ったりケーキや飲み物を用意して味わいながら、それぞれの施設の利用者が歌などを発表したり、大道芸人のパフォーマンスを披露したりして楽しい時間を過ごしました。また、毎年楽しみにしてくれているプレゼントをサンタクロースに扮したメンバーが配り交流を深めました。施設の職員の方々には「3施設の利用者が集まる機会がありませんので楽しい機会を作ってもらいたい」と感謝していただいているクリスマス会を継続事業としてこれからも少しだけでも楽しんでもらえるように施設の支援をしていきたいと考えています。



駒ヶ根LC

環境クリーン事業

1996年9月28日、
(継続事業)

駒ヶ根ライオンズクラブの主な重点アクティビティは献血奉仕、全体環境クリーン事業です。特に環境クリーン事業は、1996年からスポーツ少年団の子供たちと共に清掃奉仕活動を行っています。地球規模で騒がれている環境問題について、次世代を担う子供たちと一緒に活動を行うことで環境意識を高め、次世代に引き継がれることを願って実施しています。最初のころは少年野球リトルリーグの子供たちと行っていました。現在では毎年9月頃に、市内の老人福祉施設千寿園と、市民の憩いの場所である面積約11万㎡ある森「十二天の森」の清掃奉仕を駒ヶ根市スポーツ少年団の子供たち、保護者、監督・コーチ、クラブメンバーで毎回500名程で行っています。千寿園では、お年寄りと子供達と楽しく話をしながら清掃奉仕をしています。将来を託す子供たちが大勢参加してくださるとは大変喜ばしいことです。これからも続けていきたいと思えます。



辰野LC

第1回 辰野LCカップ 小学生フットサル大会

2016年12月3日、
(継続事業)

辰野LCでは、「魅力ある例会作りと奉仕の心」の会長スローガンのもと毎年各団体へ助成金の贈呈を行なっています。本年度は青少年育成の推進をもっと活発に行ないたいと、辰野町サッカー協会との共同事業として、「第1回辰野LCカップ小学生フットサル大会」を12月3日に辰野町のほたるドームで行ないました。初めてのフットサル大会ではありませんが辰野町の小学生のサッカーチームはもちろん、近隣の岡谷、箕輪、南箕輪、塩尻から計10チームの参加がありました。会長の青少年育成事業への思いが伝わったのか、どの試合も白熱した試合となりました。グラウンドが冬場使えないことから、冬場は試合が限られる中での開催であったが、辰野町サッカー協会や参加したチームのコーチ、保護者から、大会を開催したことへの感謝の言葉をいただきました。これを機に、大会の参加チームを増やし、ライオンズクラブPRとさらなる青少年育成事業を展開していきたいと考えています。



飯田長姫LC

技と心身を競う 高校生弓道大会

1982年、
(継続事業)

飯田長姫ライオンズクラブでは青少年健全育成事業の一環として、飯伊地区高等学校弓道大会を行っています。今年は35回目となり、飯伊地区8校の高校選手180名が参加し、男女各団体戦、個人戦を行いました。11月3日(文化の日)早朝より飯田運動公園県営弓道場にて競技が開催されます。弓道は礼を重んじ、静と動という両面の動作を持つ点で極めて奥の深いスポーツそして武道の一つです。選手たちも張り詰めた緊張感の中で、自分の実力をいつもどおり発揮すべく競技に臨んでいます。特に一年生は大きな大会の経験がなく、その緊張感も私たちにも伝わってきます。この事業を通じて青少年の育成に少しでも役に立てればと思っています。地域に密着した社会奉仕活動の一環として、また私たちのライオンレガシーとして今後とも実施して参りたいと思っています。



飯田赤石LC

風越山麓公園清掃

1991年8月19日
(継続事業)

飯田下伊那地域を見下ろす風越山の麓に、飯田市民の憩いの場として整備されました「風越山麓公園」があります。我が飯田赤石ライオンズクラブでは、1991年発足以来、この市民の憩いの場をきれいにすることで、多くの市民が来て気持ちよく遊んでいた。心癒したりしていただけたらと、年6回、努力奉仕として各委員会交代で整備しています。早朝6時半に集合しそれぞれに竹ぼうきやちりとり、鎌などを手に約1時間汗を流しながらごみや落ち葉などを片付けて公園内、歩道、駐車場をきれいにしています。また、当クラブの結成10周年記念として2001年にこの公園内の片隅に、急な荒天でも休憩やお弁当を食べられるようにと東屋を寄贈いたしました。以来26年間に渡り、回数こそ年3回となりましたが、全員参加で努力奉仕を行っております。これからも環境美化奉仕活動を継続して参ります。



ライオンズクラブ国際協会334-E地区 第63回 地区年次大会

開催日／2017年5月14日(日)

会場／キッセイ文化ホール(旧／長野県松本文化会館)

ごあいさつ

ライオンズクラブ国際協会334-E地区「第63回地区年次大会」を3R・14クラブのホストにより、2017年5月14日(日)松本市キッセイ文化ホールにおいて開催いたします。

本年度は、国際協会発足100周年という記念すべき年であり、ガバナースローガンを「獅子魂よ 永遠なれ!」百年の力より強くより高く 新たな改革をと定め、3つの基本方針を軸に活動をして参りました。

1. 100周年奉仕活動の継続と推進
2. GMT・GLT・FWTの推進強化
3. 継続事業の更なる推進と強化

これにつきましては、ゾーン・チェアパーソン、キャビネット役員更には各クラブ役員の間もご努力により一定の成果が挙げられました。活動として、骨髄移植推進セミナー開催・こども食堂の支援・FWT委員会の女性シンポジウム開催・ライオンズクエストを各リジョンで5回開催・第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動等を実施して参りました。皆様の物心両面のご協力と奉仕活動等に対し心から御礼申し上げます。

また334-E地区の悲願でもありました、2017～19国際理事候補者にL.佐藤義雄がオセアルフォーラムにおいて承認され当地区に新たな歴史を刻もうとしています。「We Serve」の精神のもと、この一年間皆様が英知と努力で築いた数々の奉仕活動、集大成発表の場であり、ライオンズクラブ国際協会発足100周年節目の記念大会を、三ガク都【岳都・楽都・学都】歴史と文化の街松本で開催出来ますことは大変な喜びであり、光栄な事と感じております。各ライオンの絆をより一層深めライオニズムの高揚を計るこの大会にお一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

334-E地区年次大会委員長
L. 篠田 徹



大会会長地区ガバナー
L. 武田 善彦



大会委員長
L. 篠田 徹

1. 代議員会

9:00～ 9:40	登録受付
9:00～ 9:50	次期地区ガバナー 第1・第2副地区ガバナー選挙投票
10:00～10:30	資格審査・議事運営 指名選挙決議委員会合同会議
10:40～11:10	代議員総会 【第1部】
11:25～12:30	代議員会 【分科会】
第1分科会	会則及び付則、政策、経理、長野県連携推進 国際会議室
第2分科会	GMT・GLT・アラート、FWT 第1会議室
第3分科会	IT、PR・ライオンズ情報、 アクティビティスローガン 楽屋8
第4分科会	国際関係・LCIF、 青少年・レオ・ライオンズクエスト 薬物乱用防止、YCE 第2会議室
第5分科会	視聴覚障がい者福祉・献眼・献腎・糖尿病教育、 環境保全、献血・骨髄移植 楽屋9
12:30～13:00	代議員・役員昼食
13:00～13:30	代議員総会 【第2部】

2. 大会式典：大ホール

12:00～12:45	登録受付
13:30～13:50	アトラクション
14:00～16:00	大会式典

3. ガバナー晩餐会：中ホール

16:15～17:45	ガバナー晩餐会
-------------	---------

334-E地区クラブ対抗 チャリティーゴルフ大会のご案内

開催日：2017年4月26日(水)
開催場所：松本浅間カントリークラブ
松本市洞 902
TEL.0263-46-4646
競技方法：18ホール ストロークプレー



ゴルフ大会運営委員長
L. 今村 雅夫

第63回地区年次大会開催において、記念事業として上記のとおりクラブ対抗ゴルフ大会開催の運びとなりました。52クラブの皆様方の奮ってのご参加をよろしくお願い申し上げます。



第63回 年次大会 in 長野

開催日 / 2017年6月11日(日)
会場 / キッセイ文化ホール(旧 / 長野県松本文化会館)



大会議長 L.久野 好輝
大会会長地区ガバナー L.武田 善彦
大会委員長 L.太田 道信

ごあいさつ

ライオンズクラブ国際協会334複合地区の皆様におかれましては、日々ライオンズムの高揚にご尽力されておりますことと拝察申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会334複合地区第63回年次大会を2017年6月11日(日)長野県松本市キッセイ文化ホールにおいて開催いたすこととなりました。

334複合地区スローガン「100周年にウィ・サーブ つなげよう未来へ」のとおり、本年度は、国際協会発足100周年という記念すべき年でもあり、本大会は、複合地区内のメンバーが相集い、旧交を温め、また新たな出会いが生まれる素敵な機会でもあります。

100周年の思いを込め、また新たな100年への始まりにもなる大会を目指して準備を進めております。開催地であります長野県松本市は日本の中心に位置し、三ガク都「岳都・楽都・学都」を掲げております。北アルプスをはじめ日本を代表する山岳地帯を有し、国宝松本城、重要文化財旧開智学校という歴史的文化財もあり、美ヶ原から槍ヶ岳まで屋根のない博物館「松本まるごと博物館」として松本地域全体が学び舎となるよう構想されております。

街並みにも城下町の雰囲気を残し、「平成の名水百選」として「まつもと城下町湧水群」があり、見て楽しむ、食べて楽しむ、泊まって楽しむ、だけでなく、歩く楽しみのある街でもあります。また、本年次大会会場のキッセイ文化ホールでは毎夏「セイジ・オザワ松本フェスティバル(旧サイトウ・キネン・フェスティバル)」が開催されており、松本の街や長野県に年次大会へのご参加をいただく機に、お楽しみいただければ幸いです。

このたびホストであります334-E地区3リジョン14クラブメンバー丸となり開催準備を進めております。334複合地区の皆様におかれましては、例年以上の多くのかたと一緒にライオンズクラブ100周年をお祝いできますよう、お誘いあわせの上、皆様のご来松を心よりお待ちしております。



1. 代議員総会 (大ホール)	
10:30~12:30	登録受付
11:30~12:00	資格審査・議事運営委員会、決議委員会
13:15~13:45	代議員会会 【分科会】

2. 大会式典 (大ホール)	
10:30~13:00	登録受付
14:00~15:45	大会式典
16:00~16:45	アトラクション
17:00~18:30	晩餐会

お知らせ
代議員・一般参加の皆様を含めて参加者全員に昼食の用意がございます。
参加者申込締切日 / 2017年4月11日(火) 必着
参加登録料振込期間 / 2017年4月12日(水)~19日(水) 厳守
*登録料は参加者確定後、上記期間中厳守で指定の口座にお振込ください。
*詳細は別紙「334複合地区第63回年次大会のご案内」をご覧ください。

大会式典登録料
1名につき
5,000円

晩餐会登録料
1名につき
10,000円

2016-2017キャビネット事務局活動記録 (2017.2.28現在)

2016年		
月日	内 容	場 所
11月1日(火)	334複合地区第1副地区ガバナー・第2副地区ガバナー研修会 松本五クラブ三役相互訪問例会	名古屋市 キャッスルブラザ 松本市 松本東急REIホテル
11月2日(水)	第2回334複合地区ガバナー協議会	名古屋市 キャッスルブラザ
11月3日(木)	第1回国際理事候補者支援委員会	松本市 ホテルブエナビスタ
11月4日(金)	第2回地区名譽顧問会議	塩尻市 キャビネット事務局
11月6日(日)	茅野・丸子レオクラブ合同研修会	軽井沢町 軽井沢アイスパーク
11月7日(月)	第1回334複合地区ライオンズクラブ創立100周年記念奉仕実行委員会 長野県副知事入会式	名古屋市 複合地区事務局 諏訪市 ホテル鷲乃湯
11月8日(火)	第3回334複合地区YCE委員会	名古屋市 複合地区事務局
11月10日(木)	第55回東洋・東南アジア(OSEAL)フォーラム(~11/13)	香港
11月12日(土)	第3回地区YCE委員会および冬季来日YCE生受入れホストクラブ・ホストファミリー、冬季派遣オリエンテーション	塩尻市 キャビネット事務局
11月14日(月)	第2回地区長期計画委員会 第3回長野県連携協定推進室会議	塩尻市 キャビネット事務局
11月15日(火)	第2回334複合地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 第3回地区FWT委員会	名古屋市 複合地区事務局 長野市 志もだ
11月16日(水)	上田城南LC第7回チャリティゴルフコンペ	上田市 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部
11月17日(木)	山田實統LCIF理事長 ナレシュ アガワル国際第一副会長ご夫妻公式訪問並びに歓迎晩餐会	名古屋市 キャッスルブラザ
11月18日(金)	第2回ゾーン・チェアパーソン会議 第2回地区ガバナー・キャビネット会議	松本市 ホテルブエナビスタ
11月19日(土)	岡谷LC結成55周年記念式典	岡谷市 ライフブラザマリオ
11月20日(日)	骨髄バンクシンポジウム	松本市 長野県看護協会ホール
11月22日(火)	第4回地区PR・ライオンズ情報・会報編集合同委員会	塩尻市 キャビネット事務局
11月25日(金)	第3回334複合地区家族及び女性委員会 献血推進アドバイザー認定講習会	名古屋市 複合地区事務局 塩尻市 塩尻総合文化センター
11月28日(月)	第4回ライオンズクエスト特別委員会	松本市 地本屋
11月29日(火)	第2回334複合地区会員・エクステンション・会員維持委員会 薬物乱用防止教育認定講師養成講座	名古屋市 複合地区事務局 松本市 ホテルブエナビスタ
12月1日(木)	JMM一般物資梱包作業	塩尻市 キャビネット事務局
12月7日(水)	長野県知事との懇談会	長野市 ホテル国際21
12月8日(木)	上田城南LCクリスマス家族例会	上田市 信州玉姫殿
12月9日(金)	第1回334複合地区国際大会委員会	名古屋市 複合地区事務局
12月19日(月)	臨時第2回ゾーン・チェアパーソン会議	松本市 ホテルブエナビスタ
12月20日(火)	戸倉上山田LCクリスマスチャリティー例会・入会式	千曲市 福寿草
12月27日(火)	YCE-OB会による冬期来日YCE生交流会	塩尻市 えんばーく
12月29日(木)	年末年始休業(~1/4)	
2017年		
月日	内 容	場 所
1月10日(火)	第3回334複合地区管理委員会	
1月12日(木)	第3回334複合地区指導力育成・リサーチ・長期計画委員会	名古屋市 複合地区事務局
1月13日(金)	第2回334複合地区環境保全委員会 2R新年合同例会	長野市 ホテル国際21
1月14日(土)		
1月15日(日)	第9回ライオンズクエストワークショップ	長野市 長野日本大学学園
1月16日(月)	第3回地区長期計画委員会 第4回長野県連携協定推進室会議 第4回地区FWT委員会	塩尻市 キャビネット事務局 長野市 志もだ
1月18日(水)	第3回334複合地区ガバナー協議会	名古屋市 キャッスルブラザ
1月19日(木)	第2回四半期会計監査	塩尻市 キャビネット事務局
1月21日(土)	1R1Z4LC合同新年例会	岡谷市 ライフブラザマリオ
1月22日(日)	第3回日本・フィリピン合同医療奉仕活動実行委員会	塩尻市 えんばーく
1月24日(火)	第5回地区PR・ライオンズ情報・会報編集合同委員会	塩尻市 キャビネット事務局
1月25日(水)	第3回334複合地区会則委員会	名古屋市 複合地区事務局
1月27日(金)	第2回334複合地区LCIF・国際関係委員会 第2回334複合地区献眼・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚委員会 4R1Z新年合同例会	名古屋市 キャッスルブラザ 名古屋市 複合地区事務局 東御市 平安閣 みまき
2月1日(水)	3R合同新年会	松本市 ホテルブエナビスタ
2月2日(木)	第2回地区薬物乱用防止委員会	塩尻市 キャビネット事務局
2月3日(金)	第4回334複合地区家族及び女性委員会	
2月5日(日)		
2月6日(月)	GMT/GLTエリア研修(第1副地区ガバナー研修)	大阪市 ホテル大阪ベイトワー
2月7日(火)	第3回334複合地区会員・エクステンション・会員維持委員会	名古屋市 複合地区事務局
2月8日(水)	第3回地区名譽顧問会議	塩尻市 キャビネット事務局
2月10日(金)		
2月13日(月)	第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動	フィリピン
2月15日(水)	2016~2017年度334複合地区上半期(中間)会計監査	名古屋市 複合地区事務局
2月17日(金)	第2回国際理事候補者支援委員会	松本市 ホテルブエナビスタ
2月20日(月)	第3回334複合地区PR・情報・IT委員会	名古屋市 複合地区事務局
2月23日(木)	第3回334複合地区YCE委員会	
2月24日(金)	第3回ゾーン・チェアパーソン会議 第3回地区ガバナー・キャビネット会議	上田市 東急REIホテル
2月26日(日)	女性シンポジウム	松本市 ホテルブエナビスタ

新入会員紹介

1 R I N Z

諏訪湖LC L.太田 俊政
2017.1.16入会
日本語学校
sponsor
中村 民治

岡谷LC L.早出 一真
2016.7.1入会
市議会議員
sponsor
原 功

岡谷LC L.笠原 千年
2016.10.11入会
飲食業
sponsor
丸茂 淳夫

岡谷LC L.橋本 伸也
2016.10.11入会
運輸サービス業
sponsor
山崎 賢一

茅野LC L.山崎 泰史
2016.7.5入会
税理士
sponsor
丸茂 明

茅野LC L.柿沢 大輔
2016.8.2入会
燃料販売
sponsor
金子 好成

2 R I N Z

長野グリーンホテルLC L.本藤 公彦
2016.11.1入会
行政書士
sponsor
相阪 国広

長野グリーンホテルLC L.中川 和幸
2016.11.1入会
製菓製造業
sponsor
横川 和人

長野グリーンホテルLC L.宮地 秀行
2017.1.10入会
サービス業・
葬祭業
sponsor
山崎 年起

長野中央LC L.小林 学
2016.7.28入会
セールス
マネージャー
sponsor
和田 正彦

長野中央LC L.小林 旭洋
2016.7.28入会
仮設工
sponsor
和田 正彦

長野中央LC L.浅妻 豊
2016.7.28入会
警備業
sponsor
和田 正彦

長野中央LC L.小山 卓延
2016.12.22入会
ソフトウェア開発・
情報システム
販売業
sponsor
上野 仁

長野りんどうLC L.杉尾 秀哉
2017.1.6入会
参議院議員
sponsor
吉澤 隆美

松本LC L.根布屋 仁
2017.1.24入会
放送局
sponsor
有賀 正

松本深志LC L.川久保 文良
2017.1.26入会
松本市議会議員
sponsor
上條 賢介

安曇LC L.宮島 剛
2016.11.16入会
販売業
sponsor
小林 紀之

穂高LC L.穂高 光雄
2017.1.17入会
宮司
sponsor
若宮 昭三

丸子LC L.原田 絢介
2016.11.1入会
保険業
sponsor
清水 重博

丸子LC L.北澤 貴司
2016.12.1入会
製造業
sponsor
竜野 信雄

東御LC L.庄村 茂
2017.1.1入会
信州大学
繊維学部
sponsor
堀内 常子

東御LC L.佐藤 千枝
2017.1.1入会
東御市議会議員
sponsor
堀内 常子

上田城南LC L.尾崎 一広
2016.6.1入会
造園業
sponsor
山邊 正重

上田城南LC L.坂下 丈夫
2016.10.1入会
製造業
sponsor
春原 宗明

戸倉上山田LC L.山岸 克法
2016.12.1入会
燃料販売
sponsor
中嶋 勲

戸倉上山田LC L.村松 頼信
2016.12.1入会
弁護士
sponsor
早志 圭司

戸倉上山田LC L.刈手 一夫
2017.1.1入会
営業(海外)・
英語通訳
sponsor
佐藤 義雄

小諸LC L.小林 章
2016.4.14入会
税理士
sponsor
福田 秀永

望月LC L.清水 泰昭
2017.1.1入会
オートバイ販売・
修理
sponsor
岩下 純武



物故ライオン

永年に渉るクラブ活動ありがとうございました。ご冥福をこころからお祈りいたします。



碓井 治
飯田赤石LC
2016年11月6日逝去



滝澤 博
更埴LC
2016年11月15日逝去



山本 忠義
丸子LC
2017年1月10日逝去



椎名 一雄
飯田赤石LC
2017年1月15日逝去



矢野 修自
中野LC
2017年1月21日逝去



岩間 彦次
松本深志LC
2017年1月22日逝去

献眼者

滝澤 博(更埴LC)
献眼発生日/2016年11月15日

善財 ふさ子(須坂LC)
献眼発生日/2016年12月2日

小川 ひろみ(佐久LC)
献眼発生日/2017年2月6日

キャビネットインフォメーション

「ライオンズクラブ国際協会支援自販機」長野県第1号機設置

2016.12.7 場所/ドリームモータースクール昭和(長野市川中島)

報告者 長野県連携協定推進室 副室長
L.中村 吉秀【長野りんどうLC】

334-E地区の青少年健全育成事業を支援するコカ・コーラ自動販売機地区内1号機が長野市川中島町のドリームモータースクールに設置されました。同日、当地区と北陸コカ・コーラボトリング株式会社との支援協定覚書の調印式及び長野県内1号機設置記念セレモニー、除幕式が行われました。今回の支援協定は、北陸コカ・コーラボトリング社との間に、当地区が長野県の連携協定を契機として進める「ライオンズクエスト」、「信州あいさつ運動」、「子どもの居場所づくり」などの青少年健全育成事業を同社が支援することを目的として締結され、この協定に基づき設置された自販機の売上金の一部が当地区の事業資金として活用されることとなります。



自販機には、ライオンズロゴマークと売上金活用の趣旨が告知されており、北陸コカ・コーラボトリング社の社会貢献とライオンズクラブの事業のPRにも繋がるものとなります。

今後は、地区内に1台でも多くの協定自販機が設置され、支援の輪が広がることが望まれます。

長野県との定例懇談会報告

2016.12.7 場所/ホテル国際21

報告者 長野県連携協定推進室 副室長
L.野沢 明夫【茅野LC】

県知事懇談は3回目となる。クラブ側からの要望はなく、ライオンズクエストの実施報告と今後予定を説明。県からは阿部長野県知事も参加し、子供の貧困問題に関し、居場所づくりモデル・プラットフォーム構築、信州子供カフェ推進事業、青少年サポーターやフードドライブ(フードバンク)への取り組み、教育資金の支援についての説明と協力要請があった。他に骨髄・末梢血幹細胞提供推進連絡会議への参画要請もあり、様々な分野での協力を求められている。



「佐藤義雄国際理事候補者激励の会」開催

2017.3.17 場所/ホテルメトロポリタン長野

報告者 戸倉上山田LC会長
L.池田 幸正

334-E地区悲願の国際理事誕生に向け、3月17日ホテルメトロポリタン長野に於いて全国から国際協会関係元理事はじめ役員、メンバー239名の出席により、佐藤義雄国際理事候補者、激励の会が盛大に挙行されました。

式典は武田ガバナーの開会の挨拶の後、佐藤義雄国際理事候補者から日本・オセアルの代表として世界に発信していく旨の心強い表明と、来賓の皆様より健康に留意されご活躍される事を願う温かい激励のご挨拶があり、第2部の激励パーティーでは盛会の内に閉会となった。



編集後記

本誌3号は第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動を中心に、YC E報告、我がクラブのライオンズレガシー1R編等を掲載しました。クラブ運営、情報発信にお役に立てればと存じます。今年はライオンズクラブ創立100周年を迎えます。また、5月、6月にはそれぞれ、第63回地区年次大会、当地区で行われる第63回複合年次大会を控えております。ライオンズクラブの会員、ご関係者の皆様におかれましては、引き続きのご活躍をご祈念申し上げます。

地区会報編集委員 織田 泰彰

第42巻 第3号 2017年4月発行

ライオン信濃

発行: ライオンズクラブ国際協会334-E地区 2016-2017キャビネット事務局
〒399-0701 塩尻市広丘吉田1150-3 オーイック第2ビル1F
TEL.0263-31-6107 FAX.0263-31-6108
E-mail ● caboffice@lcint334e.org
URL ● http://www.lcint334e.org/

編集: 地区PR・ライオンズ情報委員会 地区会報編集委員会

中村会計事務所



夢とロマンを追いかける経営者を支援します
税理士 中村 民治
税理士 中村 慎治

〒392-0012 諏訪市四賀1676-8
TEL.0266-58-3330
FAX.0266-58-3370
HP ● <http://www.tcnf.com/nakamura-kaikai>
E-Mail ● tamiji-nakamura@tcnf.or.jp
諏訪湖LC/L.中村 民治

有限会社G.Cやまさき



おかげさまで創立30周年。ギフトコンサルタントとして商品の企画提案から提供まで、一人でも多くの人に最適な商品をお届けするためのお手伝いをさせていただいております。

〒394-0034 岡谷市湖畔2-14-10
TEL.0266-23-7000
FAX.0266-22-8031
HP ● <http://www.gcyamasaki.com>
E-Mail ● info@gcyamasaki.com
岡谷LC/L.山崎 賢一

有限会社カネサン今井幸雄商店



茅野市特産の角寒天など冬天製品の卸屋として全国に販売しております

〒391-0013 茅野市宮川5533番地
TEL.0266-72-3018
FAX.0266-72-8567
茅野LC/L.今井 靖雄

富士ネオン株式会社



・ネオン管加工・取付・修理・LED関連工事・木製看板・チャンネル文字製作・ステンレス加工・アルミ加工・アクリル・塩ビ等加工・大型インクジェット出力(溶剤・UV)・Tシャツ等印刷・ルーター彫刻機加工・ドミシング加工・鉄骨工事・基礎工事・塗装工事・木工事・デザイン・企画・各種申請

〒393-0077 諏訪郡下諏訪町矢木町106番地
TEL.0266-27-8367
FAX.0266-27-1128
E-Mail ● fujineon@rose.ocn.ne.jp
下諏訪LC/L.御子柴 賢一郎

近藤材料株式会社

特殊鋼材・化学薬品・危険物・毒劇物

化学薬品を販売する会社です

〒395-0016 飯田市伝馬町1-29 TEL.0265-23-2635 FAX.0265-23-2639
E-Mail ● kondo.zai@ilac.ocn.ne.jp 飯田LC/L.近藤 收広

有限会社ポルカ



POLKAはお菓子作りを通して、地域やお客様の生活によりそうことができます。そんなお店を目指し、日々精進していきたくと思っています。

〒395-0806 飯田市鼎上山3129-2
TEL.0265-52-1776
FAX.0265-22-1775
HP ● <http://iimachi.net/ms/2008/>
E-Mail ● info@polka.ne.jp
飯田LC/L.福澤 芳一

株式会社 小野田製作所



電子部品・機械部品用の鍍金を主として徹底した品質管理・環境問題にも充分対応し常に新たな可能性に向かって邁進しております。

〒399-4511 上伊那郡南箕輪村田畑6181-4
TEL.0265-71-5211
FAX.0265-71-5212
HP ● <http://www.onoda-japan.co.jp/>
E-Mail ● imai@onoda-japan.co.jp
伊那LC/L.今井 和貴

LC化成株式会社



(本社)〒399-4431 伊那市西春近3186
TEL.0265-98-7730
FAX.0265-98-7759
(工場)〒399-0704 塩尻市広丘郷原1000-14
TEL.0263-88-5391
TEL.0263-88-5392
E-Mail ● jyokura@lckasei.co.jp
駒ヶ根LC/L.城倉 寿一

有限会社 タツノ工芸



建築塗装、リフォーム工事等どんな依頼にもお客様に満足感をご提供致します。1級技能士5名在籍し、プロとしての仕上がりを追求し続け、日々向上しております。

〒399-0423 上伊那郡辰野町沢底2044-2
TEL.0266-41-1770
FAX.0266-41-1795
HP ● <http://www.tatsuno-k.com>
E-Mail ● info@tatsuno-k.com
辰野LC/L.中山 昭彦

株式会社トライテント



各種テント、エア遊具の製作・レンタル・クリーニング・メンテナンス、オーダーメイドテントの製作も承っております。

テントの総合メーカー株式会社トライテント

〒395-0001 飯田市座光寺6628
TEL.0265-21-0177
FAX.0265-21-0178
HP ● <http://www.trytent.jp>
E-Mail ● info@trytent.jp
飯田長姫LC/L.小田原 正二

おかげさまで総業145周年



株式会社 **沖田石材**

「永却に心を刻む」をモットーに明治五年創業、以来石一筋に歩んでおります。

〒399-2565 飯田市桐林1983 TEL.0265-26-9575 FAX.0265-26-7485
E-Mail ● oki-kiri@lapis.plata.or.jp 飯田赤石LC/L.沖田 智人

株式会社 伍福園



「緑(みどり)を育み、人と街の縁(ゆかり)を育む」緑を育むことによりお客様の安らぎ、潤い、憩いを育むお手伝いをすることです。

〒395-0244 飯田市山本6722-72
TEL.0265-25-2135
FAX.0265-25-4128
HP ● <http://www.gofukuen.jp>
E-Mail ● gofukuen2@nifty.com
飯田赤石LC/L.小田切 通利

信濃の城◎石垣巡礼 参

高島城

1R 「諏訪市」

「諏訪の浮城」

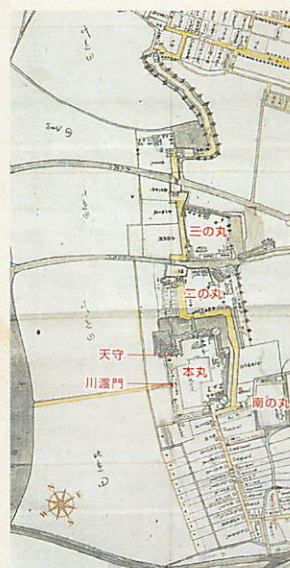
高島城の別名だ。「浮城」とは何ともロマンティックな呼び名ではないか。実際、その名の通り往時、湖畔にそびえるその姿はまるで諏訪湖に浮かぶかのように見えたそうだ。今でこそ干拓もされ完全な陸地となっているが、当時はまだ諏訪湖の水位も高く高島城の石垣には水しぶきが打ち寄せていたという。

日本の城は、築城された場所により「山城」や「平城」などタイプが別れるが、高島城は水の上に建つ「水城」に区分される（より正確に言うなら「湖城」となる）。タイプも違えば個性も異なるそれぞれ別の城。違う趣きがあり、概に魅力を比較することは出来ないが、その佇まいから幽玄な美しさや醸される「水城」の人氣は高い。作品のモチーフとして芸術家の絵心を掻き立てる存在でもあるらしく、例えば浮世絵師・葛飾北斎も「富嶽三十六景」の中の二つ「信州諏訪湖」にこの城の姿を描いている。大きく広がる諏訪湖の向こう、遙かに望む富士の山。その手前、湖畔に建つこの城の姿は、こじんまりとしており偉ぶってはいない。どち



葛飾北斎「富嶽三十六景」信州諏訪湖

描いている。大きく広がる諏訪湖の向こう、遙かに望む富士の山。その手前、湖畔に建つこの城の姿は、こじんまりとしており偉ぶってはいない。どち



慶応四年城下町図【出典①】

らかといえは積み木細工のように可愛らしく描かれているが、だからこそ逆にその存在感が際立って見える。

実際のところ、高島城の本丸を囲む石垣の全長は320メートル足らず。総石垣造りとはいえず、して大きな城ではない。だが、この大きさがちょうど良い。城を称して適切な言葉ではないかも知れないが、「手ごろなサイズ」という感を抱く。不思議と親しみが持てる。そんな城なのだ。江戸時代、動乱の世にあつて、この地域では幕末まで一度も百姓一揆や打ちこわしが起きることもなく平穏だったという。もちろん、古来よりこの地を治め領民にとつても馴染みのあつた諏訪氏が領主を務めていたことがその主たる理由であろうが（諏訪氏は諏訪大社の最高職である「大祝」の家柄でもあつた）、この城で暮らす殿に対し皆が並々ならぬ親しみを感じていたことも一因であり、その親近感の源流は高島城の偉ぶらない城姿にあつたのではないかと個人

的には考えるのだが。因みに高島城を築城したのは諏訪氏ではなく豊臣秀吉方の武将・白根野高吉



ここで高島城の名譽のためにも言わせていただくが、城の造りがコンパクト

だからといって侮ってはいけない。この要害の強固な守りは特筆ものだ。もともと堅守が売りの水城だが、高島城の場合には堀代わりに信州一の湖である諏訪湖がその足もとを守る。「諏訪湖を水堀にする」とは何ともスケールの大きな話だが、これでは攻城側も攻め入るのは容易いことではない。だが逆を言えば、そんな湖のほとりである軟弱な地盤に城を建てるのは大変な苦勞を要したことであろう。

事実、この城の石垣は筏状に組まれた大木の上に積み上げるといふ工夫が施されている。これは明らかに地盤対策としてのものであり、諏訪湖の水をせき止めて行われた基礎工事はかなりの困難を伴う大事業だったと見て間違いない。まさに「浮城は、目にして成らず」だ。高島城は、完成までに七年の歳月を要している。

現在、再建された高島城の石垣は算木積みだが、もともとの石垣はありのままの石をほぼ加工せずに積み上げる野面積みだった。最も原始的な積み方で、見、乱雑に見えるがその実とても頑丈でありしかも水はけが

良い。水城にこそ、うつつつけの石垣工法がこの不沈の浮城の足もとを支え続けた。当時、この城の堅守を讃え「高遠三日に諏訪七日、飯田松本通りがけ」と歌われたそうだ。また、城内とその城下町には数カ所の温泉場が設置され、領主や家臣がその湯を利用していたという。温泉がある城とは全国的に見ても珍しい。これも堅い守りがあればこそ。のんびりと湯に浸かる殿の姿があつた、というのも温泉どころ諏訪の城ならではの光景か。

